

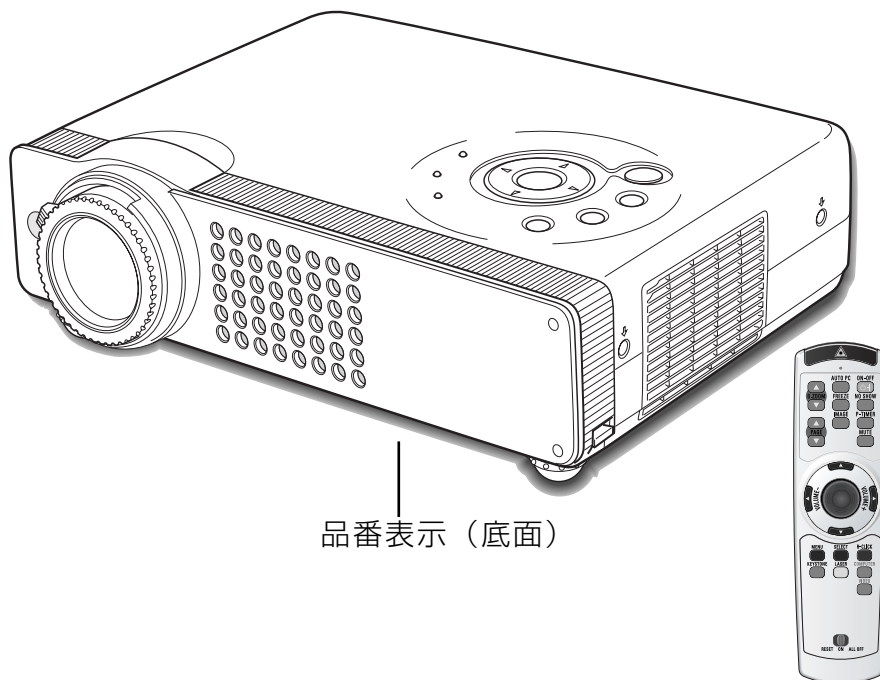
液晶プロジェクター

品番 LP-XU55 / LP-XU50 / LP-SU50

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～10ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示 (底面)

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の () 内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XU55/LP-XU50/ LP-SU50 の特長

LP-XU55/LP-XU50

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル採用、XGA画像をリアル表示、SXGAを圧縮表示。

LP-SU50

800 x 600 ドットの高解像度液晶パネル採用、SVGA画像をリアル表示、XGAを圧縮表示。
(SXGAにも一部圧縮表示対応)

狭い場所でも大画面投映可能な短焦点レンズを搭載

小型・軽量・コンパクトデザイン

プログレッシブ スキャン

- プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投映します。

ランプの明るさを調整することができるランプモード

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「オート PC アジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

キャプチャー機能でオリジナルの起動画面を作ることが可能。

高性能ワイヤレスリモコン付き

- プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができます。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能。
- レーザーポインタをスポットライトやポインタ表示に切り換えることも可能。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

DVI-I (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載

- デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI-I) 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映できます。

コンポーネント 映像入力端子を装備

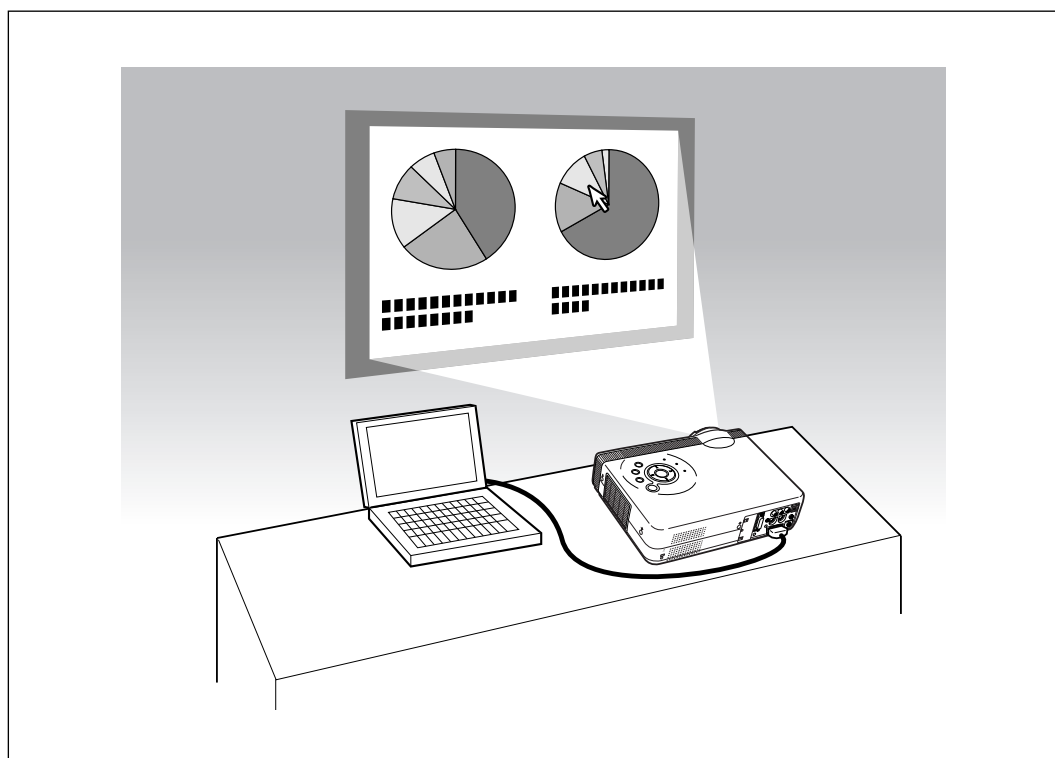
- DVDやHDTVなどを高画質で再生。

入・出力切り換え可能D-sub端子を装備

- コンピュータ入力または、コンピュータ出力として切り換えて使用することができます。

天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

別売のMulti Card Imager (マルチ・カード・イメージャー) を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。



目次

安全上のご注意 4

はじめに 11

付属品を確認してください 11

各部の名称 12

本体各部のなまえ 12

機器をつなぐ端子 13

本体操作パネルのボタン 14

リモコンのボタン 15

リモコンの準備 16

設置 18

設置のしかた 18

接続 20

コンピュータを接続する 20

ビデオ機器を接続する 21

電源コードを接続する 22

基本操作 23

電源を入れる 23

電源を切る 24

投映画面を調整する 25

画面を一時的に静止させる 26

画面を一時的に消す 26

プレゼン時に経過時間を表示する 26

音量を調節する・一時的に消音する 27

メニューの操作 28

オンスクリーンメニューの操作方法 28

コンピュータ入力 30 (DVD / デジタルビデオ入力)

コンピュータ入力に切り換える 30

コンピュータシステムの選択 31

コンピュータシステムの調整 32

イメージの調整 35

画面サイズを調整する 37

ビデオ入力 38

ビデオ入力に切り換える 38

カラーシステムや走査方式を選択する 39

イメージの調整 40

画面のサイズを選択する 42

各種セッティング 43

その他の機能 48

リモコンでコンピュータを操作する 48

ポインタの操作 49

保守とお手入れ 50

光源ランプの交換 50

お手入れについて 52

内部の温度上昇について 53

インジケータ表示とプロジェクターの状態 54

故障かなと思ったら 55

付録 56

コンピュータシステムモード一覧 56

メニュー内容一覧 57

仕様 59

別売品 60

端子の仕様 61

お客さまご相談窓口 62

保証とアフターサービス 裏表紙

安全上のご注意



安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に具体的な注意内容が描かれています。

（左の絵表示は感電注意を意味します。）



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。

（左の絵表示は分解禁止を意味します。）



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

警告

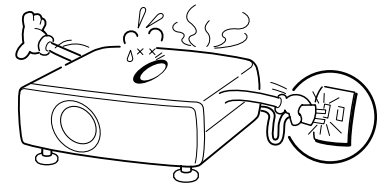
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。



AVOID EXPOSURE-LASER
RADIATION IS EMITTED
FROM THIS APERTURE
レーザー光の出口
ビームをのぞき込まないこと



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

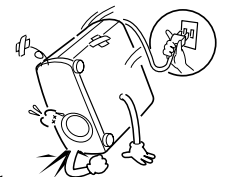
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



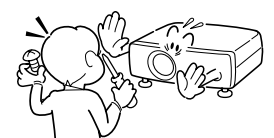
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



警告

- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

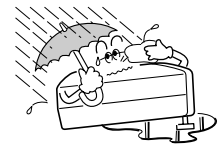


風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



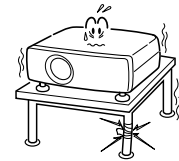
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



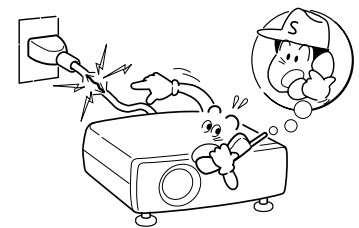
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止

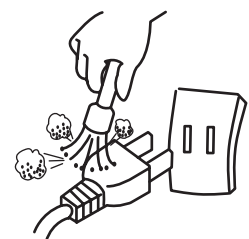


- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）

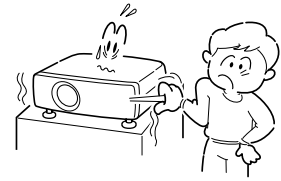


警告

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



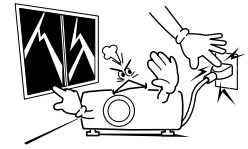
禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



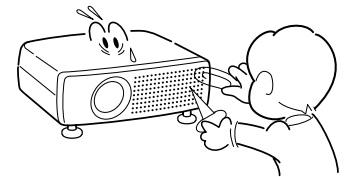
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、22ページをご覧ください。)



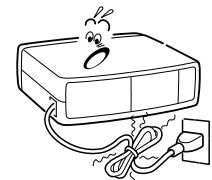
アース線を接続せよ

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



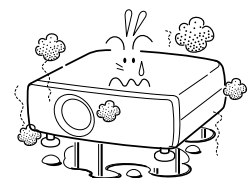
禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から 1メートル以上あけてください。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。

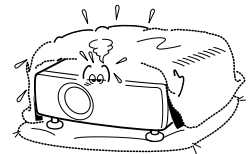
次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。



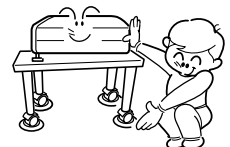
禁止



- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



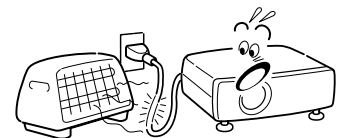
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



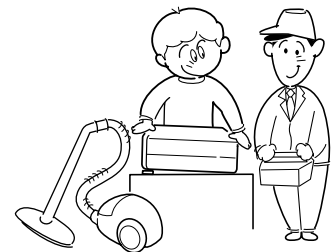
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズカバーをはめ、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。別売の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 付属キャリーバッグ使用上の注意 ●

付属のキャリーバッグは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

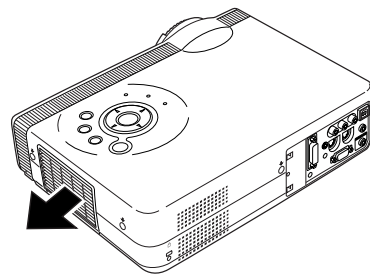
排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意

排気口



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

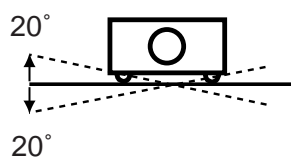
使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



傾きは 20° 以内に

左右への傾きは各 20°
以内としてください。



横置き禁止

横に立てて設置して投影し
ないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投影しな
いください。



下向き禁止

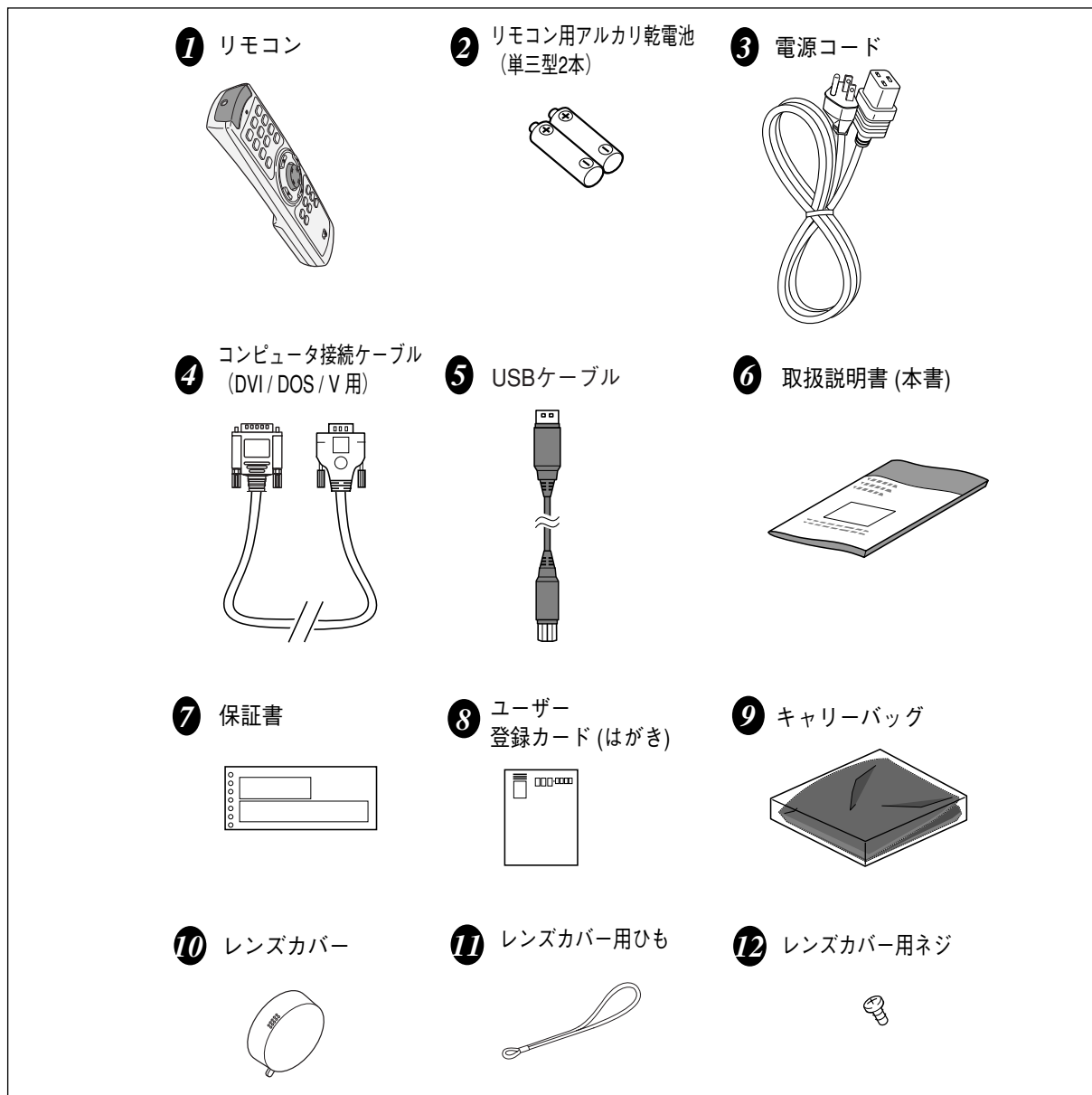
下向きに設置して投影しな
いください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属品を確認してください

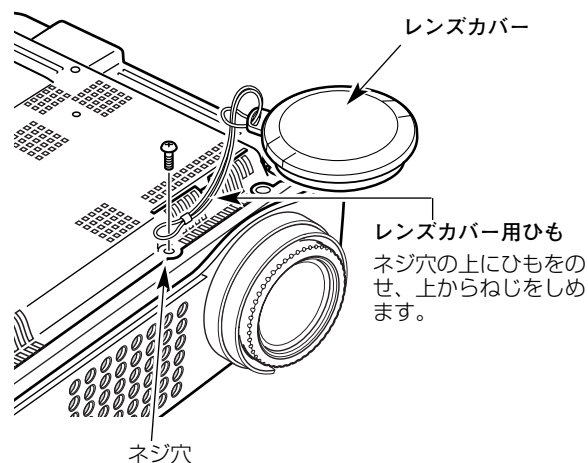
プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。



<レンズカバーを取り付ける>

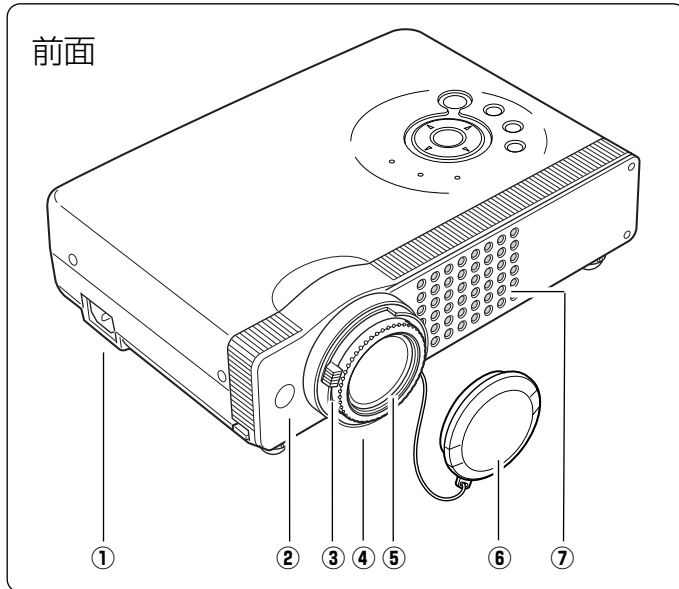
本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズカバーをはめてください。

- 1 レンズカバーの穴にひもを通します。
- 2 本機の底面にある取付用ネジ穴にひもをのせ、ひもの上からネジをしめて、本機に取り付けます。



各部の名称

本体各部のなまえ



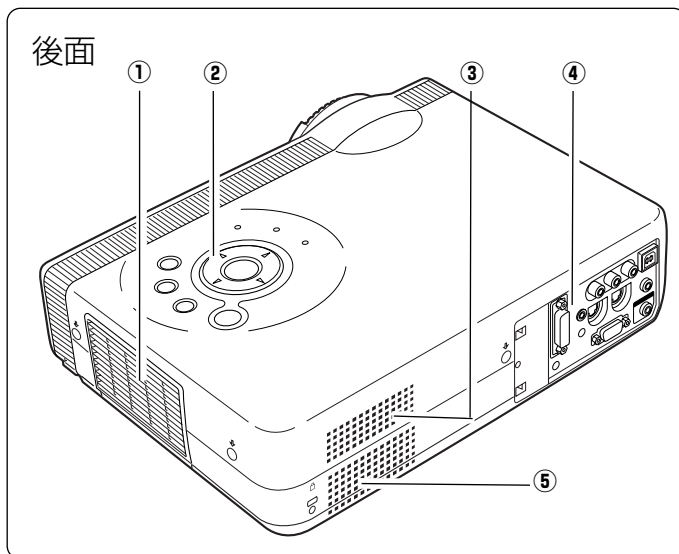
! ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① 電源コード接続ソケット 22ページ
- ② リモコン受信部
- ③ ズームレバー
- ④ フォーカスリング
- ⑤ レンズ
- ⑥ レンズキャップ * 1 11ページ
- ⑦ 吸気口 * 2

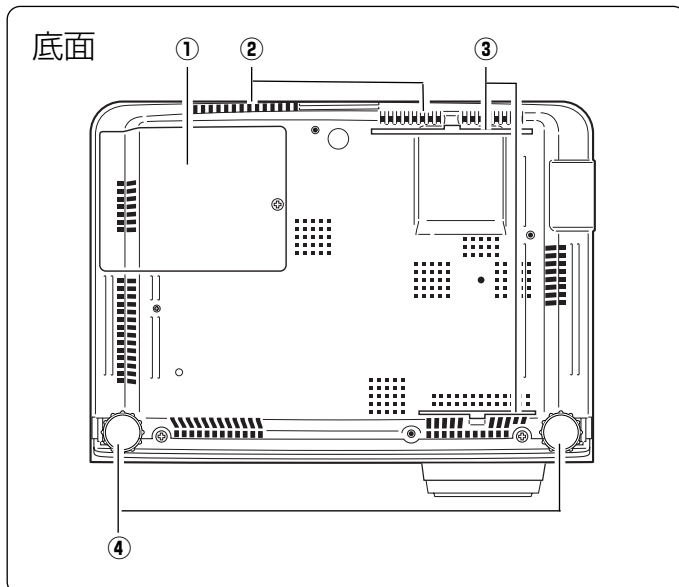
* 1



ランプ点灯中はレンズキャップをかみはずさないでください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。



- ① 排気口 * 3
- ② 操作パネル・インジケータ
- ③ 吸気口 * 2
- ④ 後面端子 13ページ
- ⑤ スピーカ



- ① ランプカバー
- ② 吸気口（後面と底面） * 2
- ③ エアフィルター
- ④ 調整脚

* 2



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがしないでください。

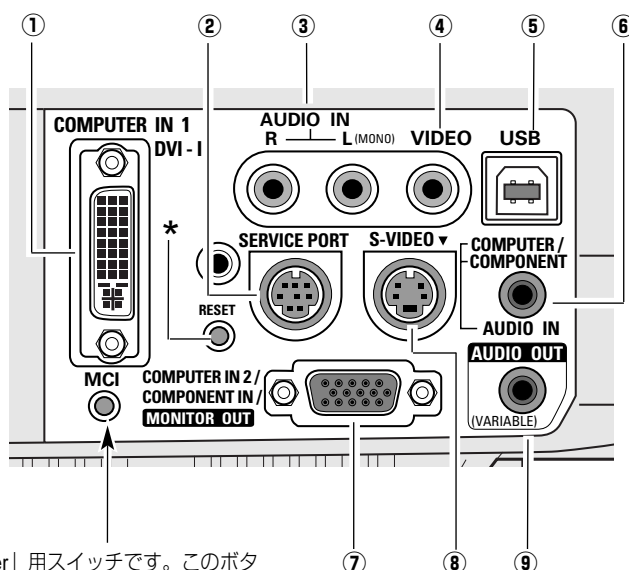
* 3



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

機器をつなぐ端子

後面端子



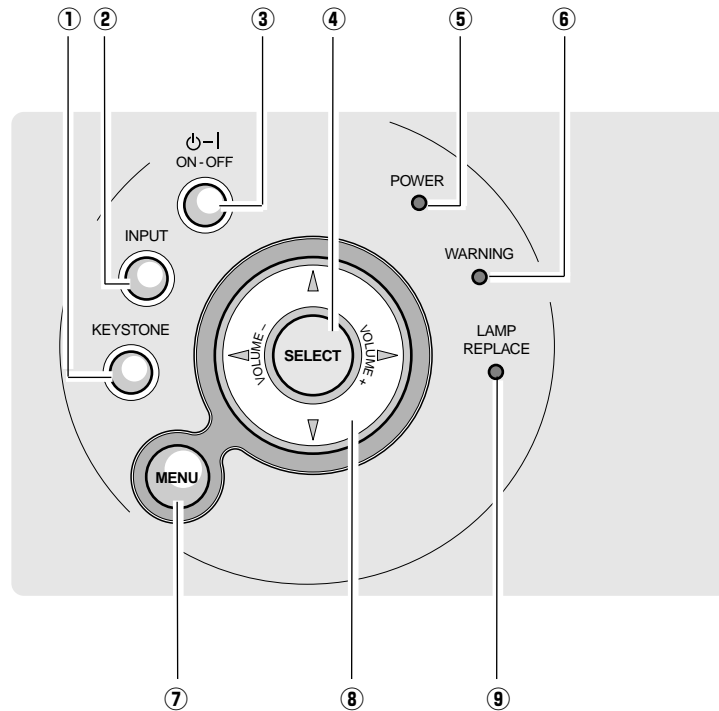
別売の「Multi Card Imager」用スイッチです。このボタンを押さないでください。

- ① **コンピュータ 1 DVI-I 入力端子** (20ページ参照)
DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル / アナログ）を接続する DVI-I 端子です。接続には別売の DVI-I 用コンピュータ接続ケーブルを使用します。D-sub 出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には、付属のコンピュータ接続ケーブル（DVI / D-sub 用）を使って接続します。
また、この端子は別売の「Multi Card Imager」の接続にも使用します。
- ② **サービス用端子**
サービスマン用の端子です。
- ③ **音声入力端子** (21ページ参照)
④ または ⑧ に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は「L (MONO)」端子へ接続してください。
- ④ **ビデオ入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
- ⑤ **USB 端子** (20、48 ページ参照)
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB端子を付属の USBケーブルでつなぎます。
- ⑥ **コンピュータ音声入力端子 / コンポーネント音声入力端子** (20、21ページ参照)
① または ⑦ に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。
- ⑦ **コンピュータ 2 / コンポーネント入力端子 / モニター出力端子** (20、21ページ参照)
コンピュータからのアナログ信号またはビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。
また、コンピュータのモニター出力として切り換えて使用することができます。
接続には別売の D-sub 用コンピュータ接続ケーブルまたはコンポーネント/D-sub接続ケーブルを使用します。
※モニター出力として使用できるのは「**COMPUTER IN 1 DVI-I 端子**」に接続された信号がアナログの時のみです。
- ⑧ **S 映像入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。
- ⑨ **音声出力端子（可変）** (20、21ページ参照)
③ または ⑥ に接続された、投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

* リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

本体操作パネルのボタン



この操作パネルは、本機の上面にあります。

① **KEYSTONE** ボタン (25、43 ページ参照)
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

② **INPUT** ボタン (30、38 ページ参照)
インプット (入力) を切り換えます。

③ **ON-OFF** ボタン (23、24 ページ参照)
電源を入り・切ります。

④ **SELECT** ボタン (28 ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。

⑤ **POWER** インジケータ (54 ページ参照)
プロジェクターの状態を示します。

点灯 (赤) : 電源を入れる準備ができました。
点滅 (赤) : 電源を入れる準備ができるまで、またはランプの冷却中です。

点灯 (緑) : プロジェクターは動作中です。
点滅 (緑) : パワー管理モードがはたらいています。

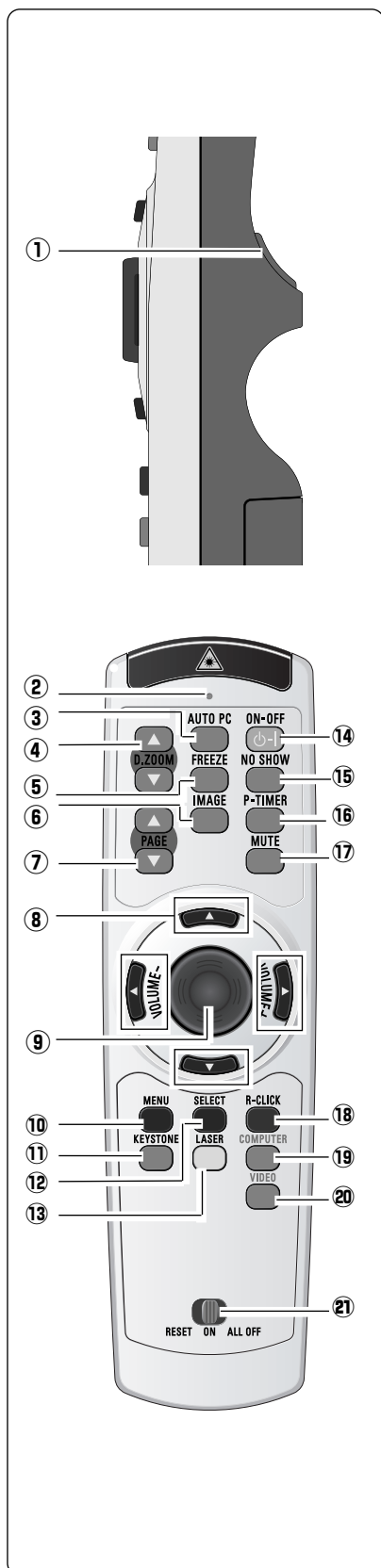
⑥ **WARNING** インジケータ (54 ページ参照)
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

⑦ **MENU** ボタン (29 ページ参照)
メニューバーを出します。

⑧ **ポイント (VOLUME)** ボタン (27、28 ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動や音量の調節に使用します。

⑨ **LAMP REPLACE** インジケータ (54 ページ参照)
光源ランプの交換時期を知らせます。

リモコンのボタン



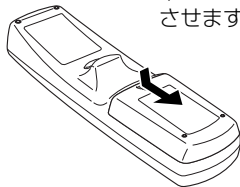
- ① **左クリックボタン** (48ページ参照)
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。
- ② **レーザーポインタインジケータ**
レーザーポインタ (レーザー光) が出ているとき、またはプロジェクターへ信号を送信しているときに、赤く点灯します。
- オートビシー
③ **AUTO PC ボタン** (32ページ参照)
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- デジタルズーム
④ **D.ZOOM ボタン** (37ページ参照)
デジタルズームの操作をします。
- フリーズ
⑤ **FREEZE ボタン** (26ページ参照)
画面を一時的に静止させます。
- イメージ
⑥ **IMAGE ボタン** (35、40ページ参照)
イメージモードを選択します。
- ページ
⑦ **PAGE ボタン**
リモコンをコンピュータのマウスとして使用するとき、ページを送るはたらきをします。▲で前のページへ、▼で次のページへ送ります。
- ポイント
⑧ **POINT ボタン** (27、28ページ参照)
オンスクリーンメニューのポイントの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。
- ⑨ **プレゼンテーション/ポインタ/マウス操作ボタン** (48、49ページ参照)
スポットライト・ポインタ機能または、コンピュータのマウスとして使用します。
- メニュー
⑩ **MENU ボタン** (29ページ参照)
メニューバーを出します。
- キーストーン
⑪ **KEYSTONE** (25ページ参照)
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- セレクト
⑫ **SELECT ボタン** (28ページ参照)
ポイントの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- レーザー
⑬ **LASER ボタン** (49ページ参照)
レーザーポインタ (レーザー光) を出します。また、ポインタ機能のオン・オフの切替スイッチとしても使います。
- オン オフ
⑭ **ON-OFF ボタン** (23、24ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ノーショー
⑮ **NO SHOW ボタン** (26ページ参照)
画面を一時的に消します。
- ピータイマー
⑯ **P-TIMER ボタン** (26ページ参照)
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。
- ミュート
⑰ **MUTE ボタン** (27ページ参照)
音声を一時的に消します。
- ⑱ **右クリックボタン** (48ページ参照)
コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。
- コンピュータ
⑲ **COMPUTER ボタン** (30ページ参照)
入力をコンピュータ 1 または 2 に切り換えます。
- ビデオ
⑳ **VIDEO ボタン** (38ページ参照)
入力をビデオに切り換えます。
- リセット オン オールオフ
㉑ **RESET/ON/ALL-OFF スイッチ**
リモコンを長時間使用しないときは、「ALL OFF」側にしてください。
リモコンコードを初期設定に戻すときは、「RESET」側に切り換えます。

リモコンの準備

電池の入れかた

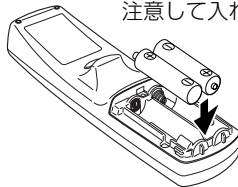
1 電池カバーを開けます。

押しながら
下にスライド
させます。



2 電池を入れます。

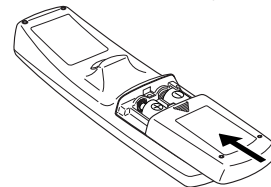
付属の乾電池を
+プラス、-マイナスに
注意して入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド
させます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- +極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。



注意



禁止

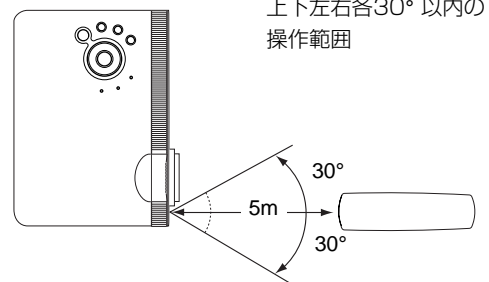
リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。



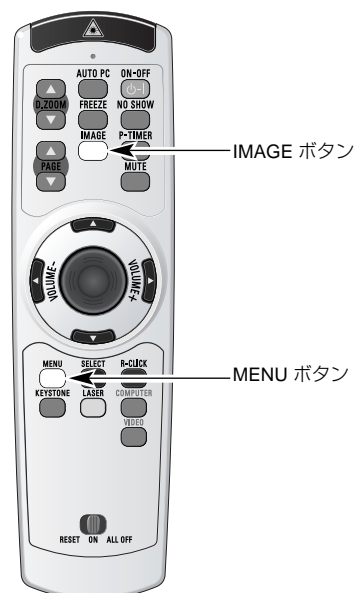
上下左右各30° 以内の
操作範囲

リモコンコードの設定

本機は 8種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード 2」～「コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはセッティングメニュー内で行ないます。（46ページ参照）

- 1 MENU ボタンを押します。
 - 2 MENU ボタンを押したまま、IMAGE ボタンを押します。
IMAGE ボタンを押す回数でコードが決まります。
- ※ MENU ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り替わります。

リモコンコード	イメージボタンを押す回数
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8



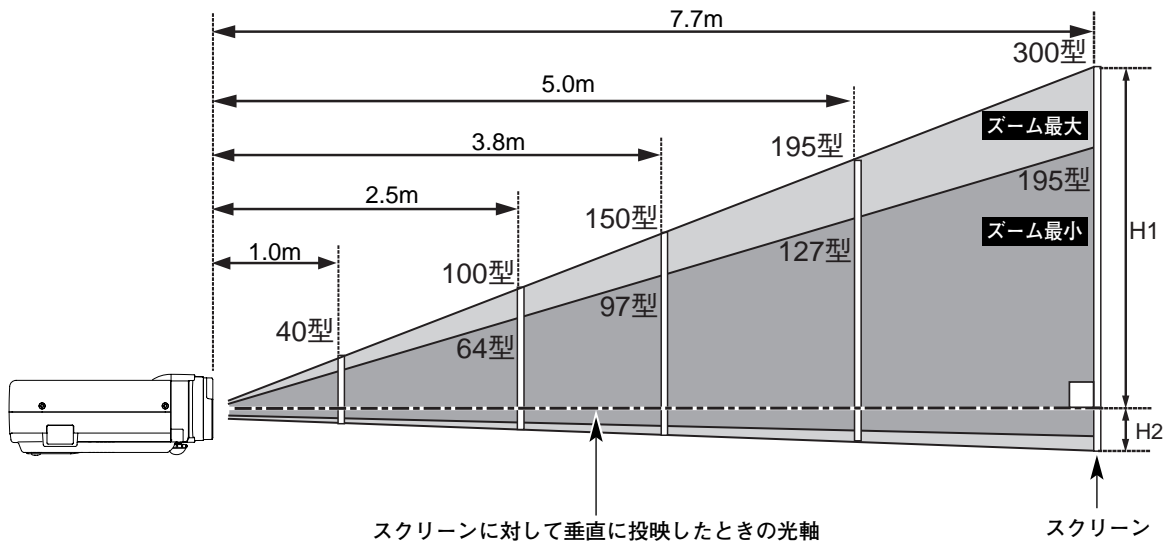
※設定したリモコンコードを初期化したいときはリモコン下方にあるスイッチで RESET を選択します。
工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約 1.0m～7.7m の範囲に設置してください。

H1 : H2 = 9 : 1

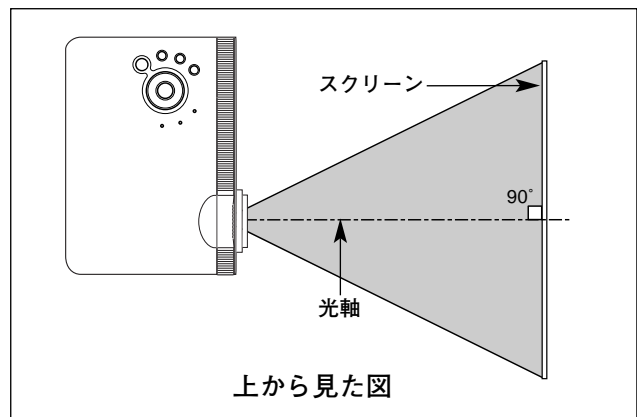


画面サイズ (幅 × 高さ : mm)	40 型	100 型	150 型	195 型	300 型
813 × 610	2032 × 1524	3048 × 2286	3962 × 2972	6096 × 4572	
投射距離 (ズーム最小)	1.5 m	3.9 m	5.9 m	7.7 m	—
投射距離 (ズーム最大)	1.0 m	2.5 m	3.8 m	5.0 m	7.7 m

※上表は 4 : 3 の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。(37、42 ページ参照)

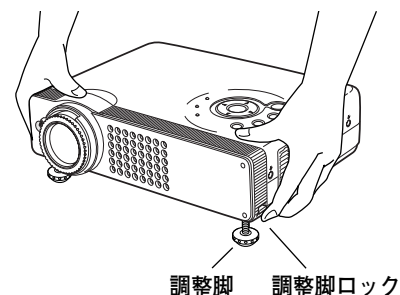
スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



投映画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約11.8度まで上がります。



左右方向の傾きは ±20度以内に

左右の傾きが ±20度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、光源ランプの故障の原因となります。

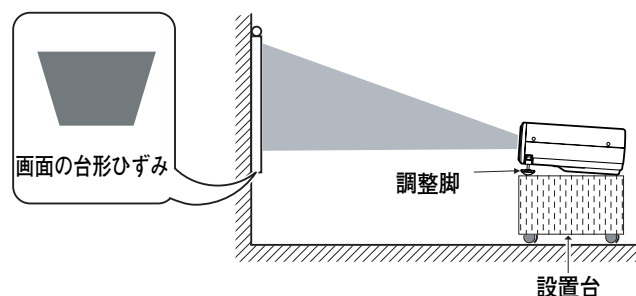


注意

画面の台形ひずみ (あおり)

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(25ページ参照)



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

メモ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

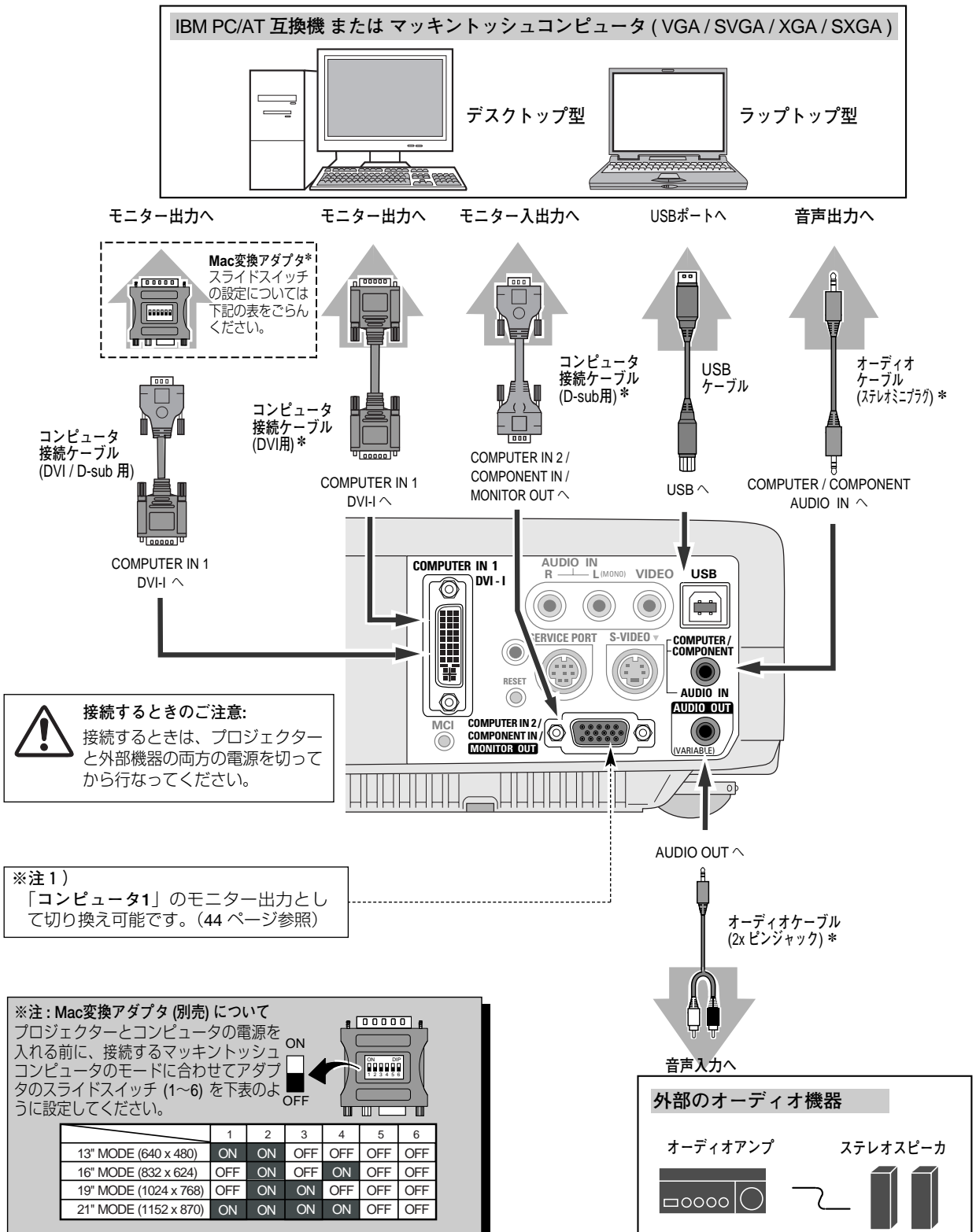
ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

- コンピュータ接続ケーブル (D-sub用、DVI用*)
- USBケーブル
- Mac変換アダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時)*
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ*、または2xピンジャック*)

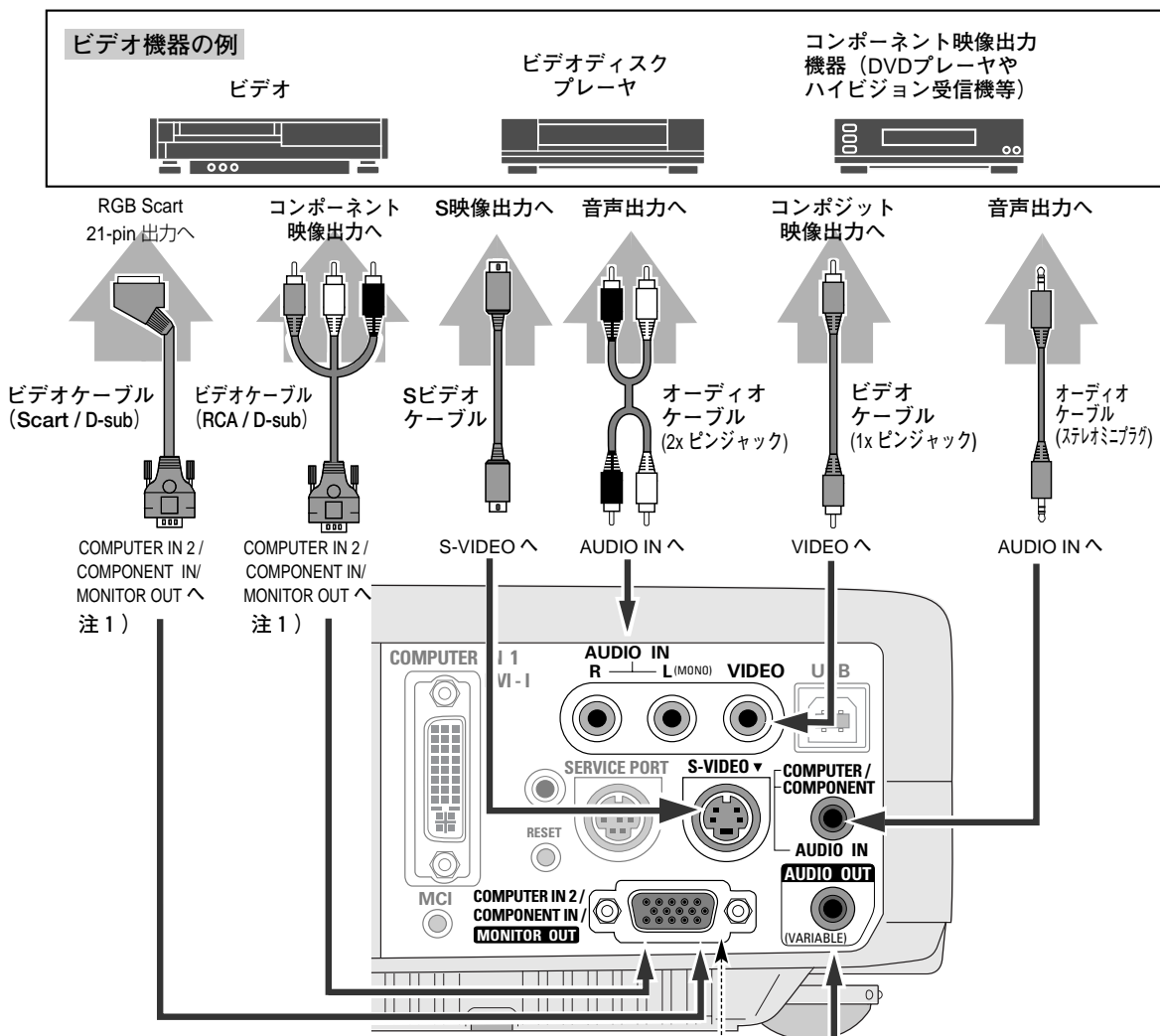


ビデオ機器を接続する (例)

接続に使用するケーブル

※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

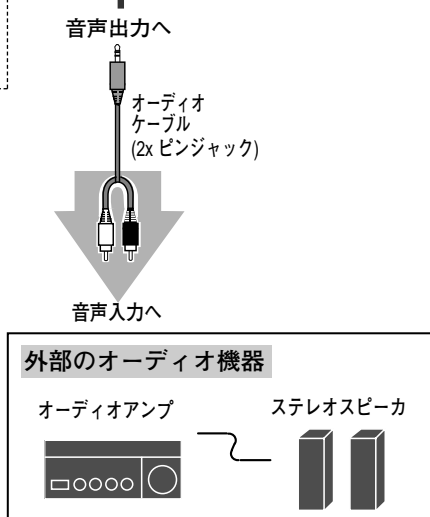
- ビデオ ケーブル
(1x ピンジャック、Scart/D-subケーブル、RCA/D-sub 3x ピンジャック)
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン)
- オーディオ ケーブル
(ステレオミニプラグ、または2x ピンジャック)



※注1)
「コンピュータ1」のモニター出力として切り換え可能です。(44 ページ参照)

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入 (信号の有無ではない) を検知して
1) S-Video、2) Video の順位で入力端子を自動選択します。
希望する入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。(38ページ参照)

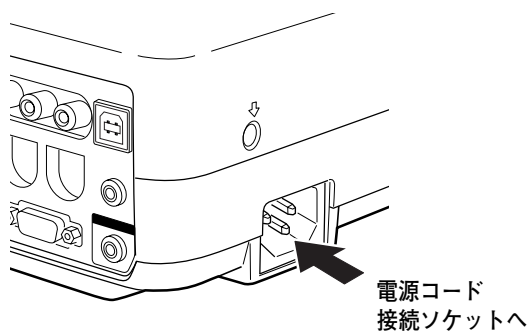
接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。



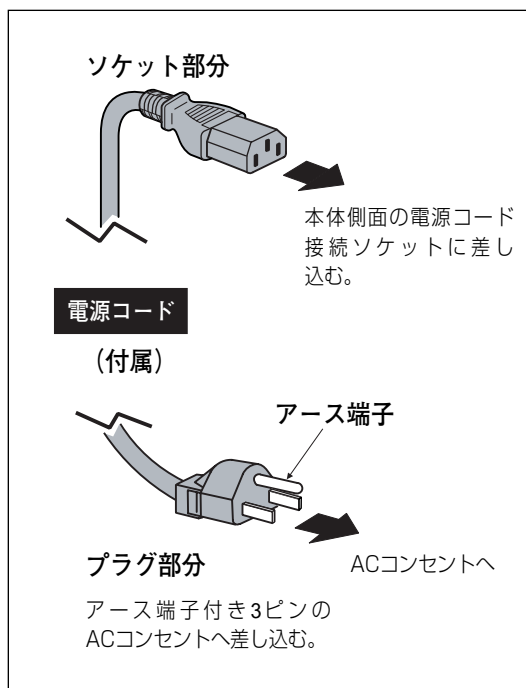
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、13、20、21ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの ACコンセントに差し込みます。



⚡ アース端子を接地してください ⚡

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

⚡ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ⚡

本機は、操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約11Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



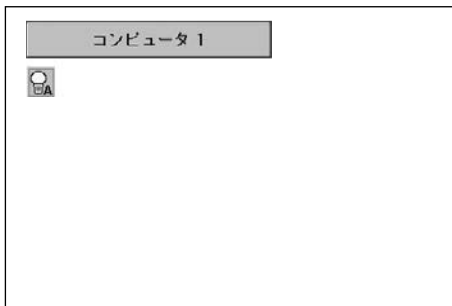
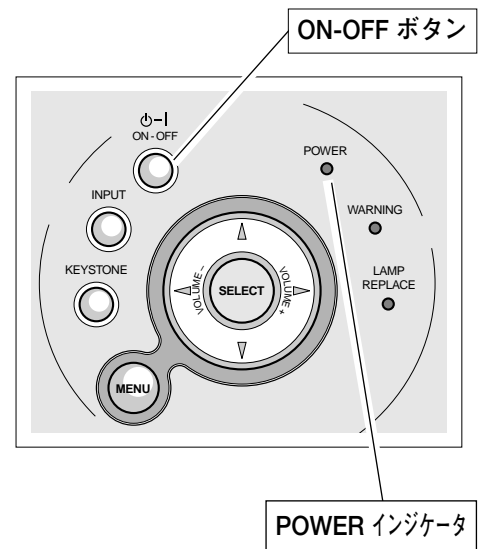
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、13、20、21ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを ACコンセントに接続します。(22ページ参照)
赤色の POWER インジケータが点滅し、その後点灯にかわります。

2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
POWER インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。
スタート時以下のランプモードと入力モードの表示が約5秒間出ます。

※セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」、「ロゴ オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。
(カウントダウンの数字は出ます。)



入力モードとランプモードの表示

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。90秒経ち、POWER インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

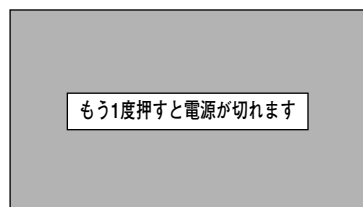
操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約11Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



注意

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると POWER インジケータが緑色から赤の点滅にかわり、ランプの冷却を始めます。



※表示は約4秒間出ます。

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

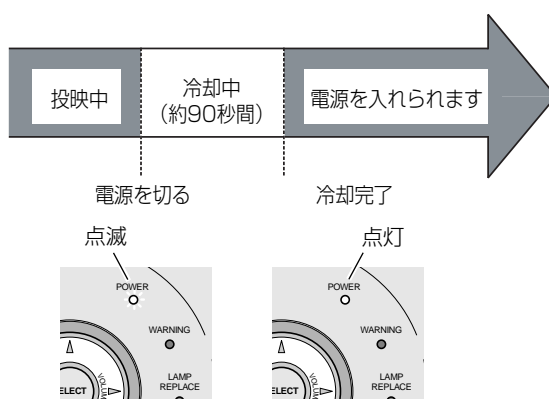
電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約90秒経ち、POWER インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

光源ランプを長持ちさせるために

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンで電源を切り、約90秒経過後、POWER インジケータが赤く点灯してから行ってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



プロジェクターを24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合24時間に1度電源を切り、1時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。(45ページ参照)

パワーマネジメントの動作について

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は POWER インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると POWER インジケータが緑色の点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

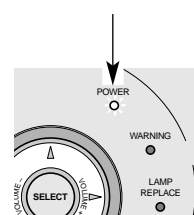
設定が「シャットダウン」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了すると ランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は POWER インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



↑
ランプ消灯までの時間

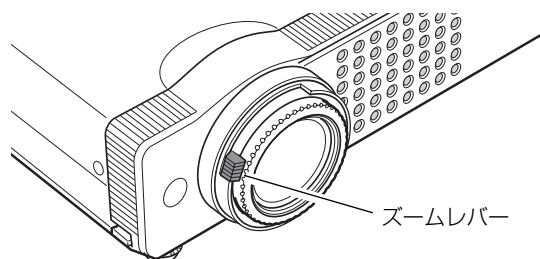
パワーマネジメントモードになると、POWER インジケータが点滅を始めます。



投映画面を調整する

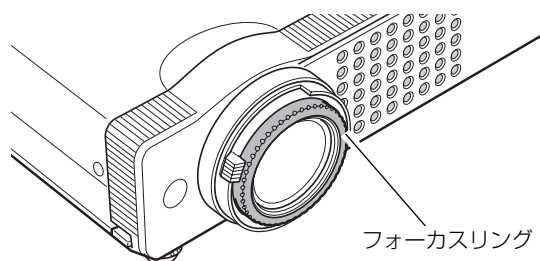
画面の大きさを決める (ZOOM)

ズームレバーを回して、画面の大きさを調整をします。



フォーカスを合わせる

フォーカスリングを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する (KEYSTONE)

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

リモコンまたは操作パネルの KEYSTONE ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度 KEYSTONE ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

キーストーン

- ※ 表示は約10秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

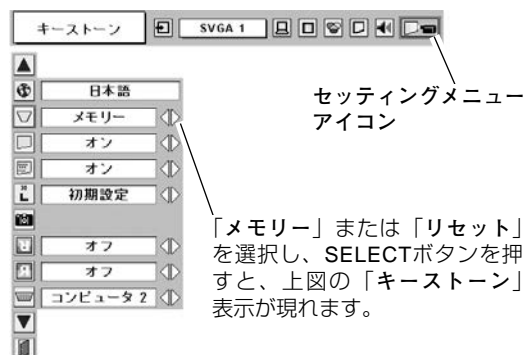
オンスクリーンメニューで操作するとき

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

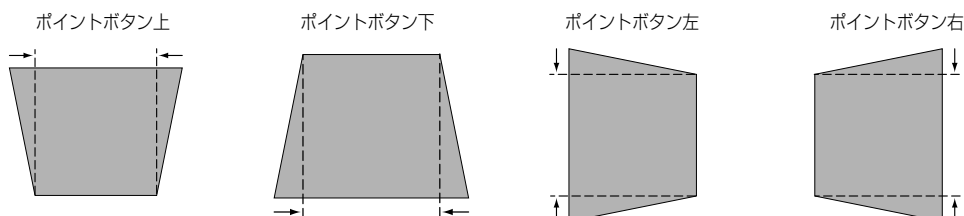
2 ポイントボタン下でポインタをキーストーンのアイコンに合わせ、SELECT ボタンで選択します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。(43ページ参照)

もう一度 SELECT ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。



「メモリー」または「リセット」を選択し、SELECT ボタンを押すと、上図の「キーストーン」表示が現れます。

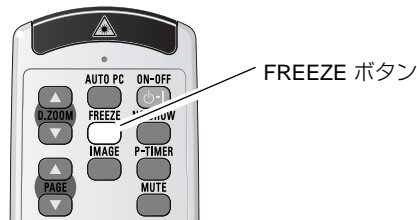


※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。



📌 こんなときに便利です 📌

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

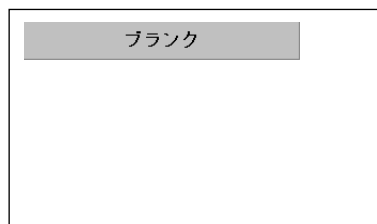
画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。

📌 ロゴ画面を表示させることができます 📌

NO SHOW ボタンを2回押します。「セッティングメニュー」の「キャプチャー」機能を使い、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。



※表示は約4秒間出ます。

📌 こんなときに便利です 📌

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

📌 こんなときに便利です 📌

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

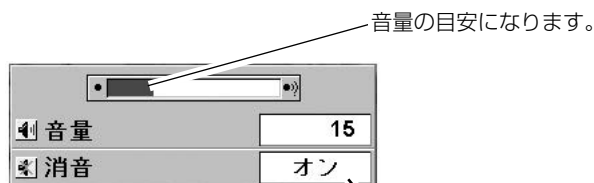
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



音量の目安になります。

MUTE ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約4秒で消えます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

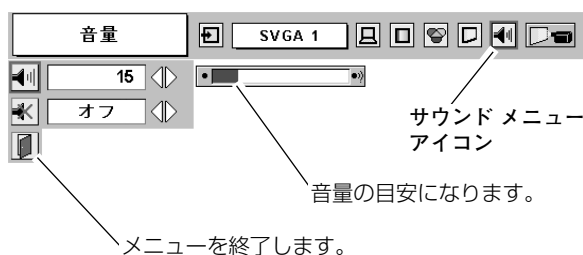
音量調節

ポイントボタン左で音量が小さくなり、ポイントボタン右で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

ポイントボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

サウンドメニュー



サウンドメニューアイコン

音量の目安になります。

メニューを終了します。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

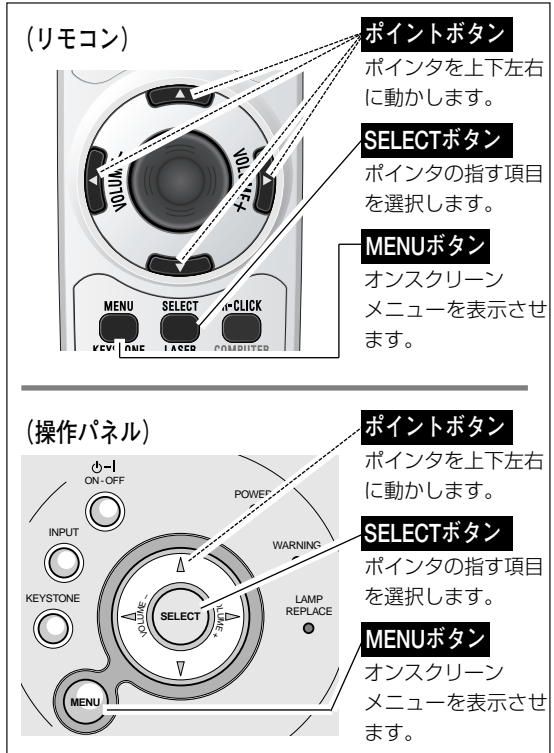
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かし方

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECT ボタンを押します。SELECT ボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

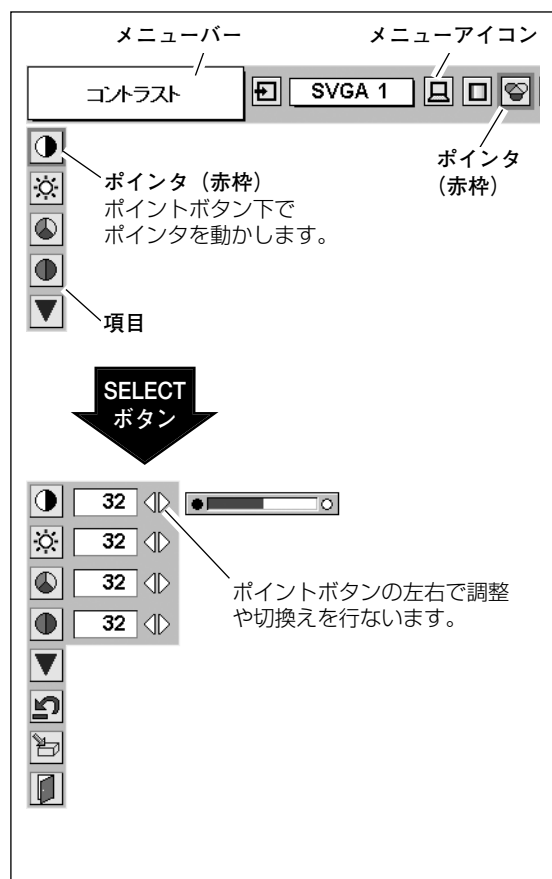
- 1 MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 2 赤い枠のポインタを、ポイントボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

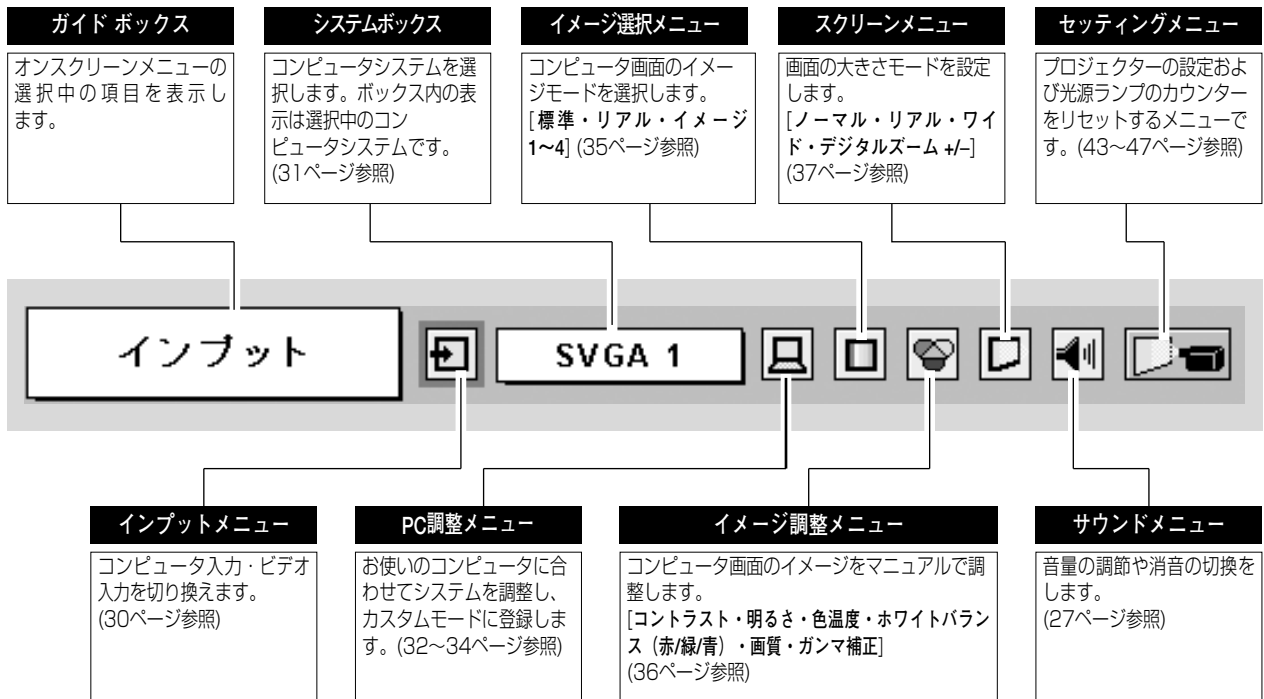
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 SELECT ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 ポイントボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項を参照してください。

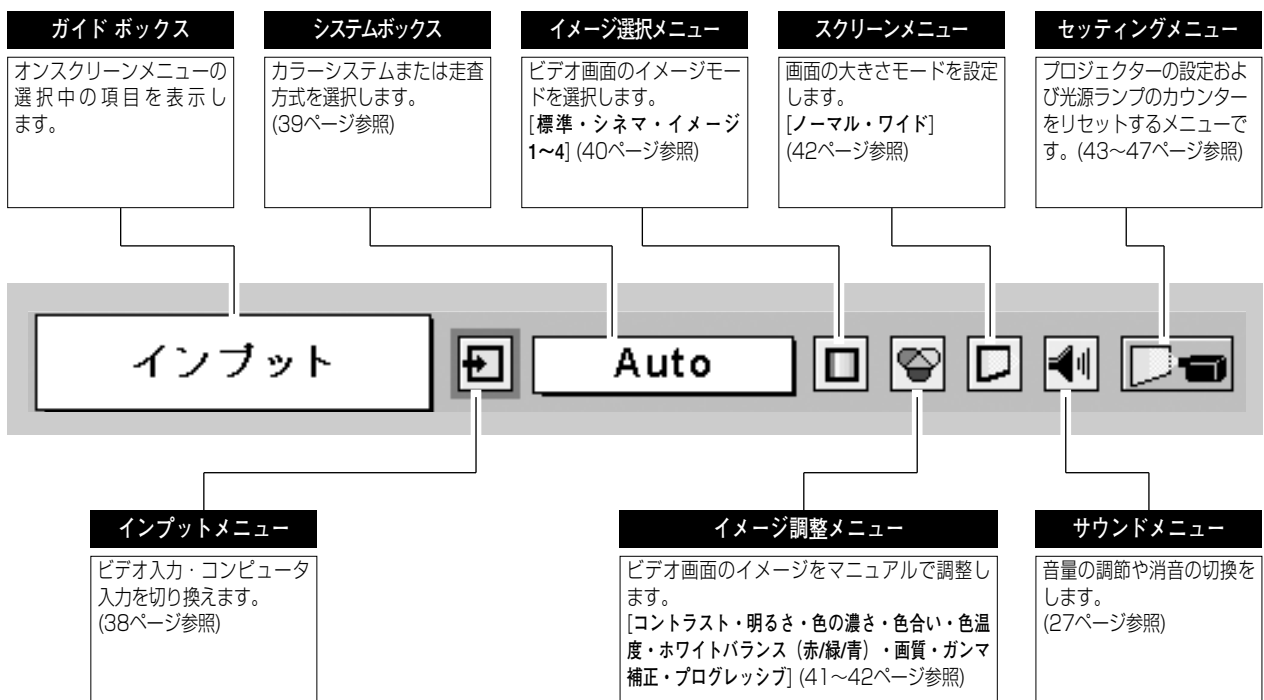


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー

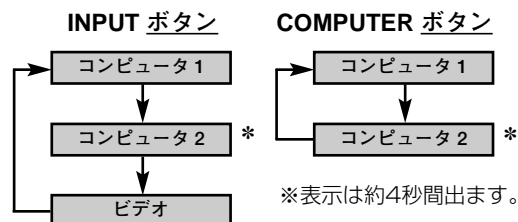


コンピュータ入力 (DVD / デジタルビデオ入力)

コンピュータ入力で切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの COMPUTER ボタン、または操作パネルの INPUT ボタンを押して、「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」を選択します。



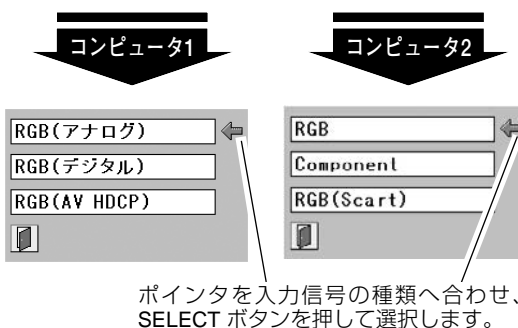
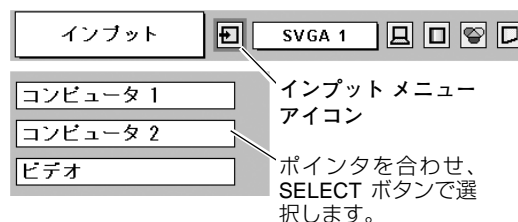
INPUT ボタンを押すごとに切り換わります。

* 「設定メニュー」の中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、コンピュータ 2 は表示されません。

インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 コンピュータ 1 またはコンピュータ 2 にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
- 3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んで下さい。

インプットメニュー



コンピュータ 1

COMPUTER IN 1 / DVI-I 端子に接続されている入力信号に合わせ、SELECT ボタンで選択します。

※HDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB (AV HDCP)」を選択します。

コンピュータ 2

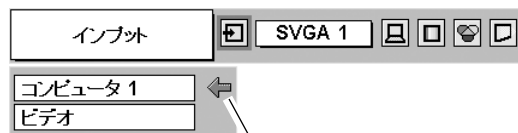
「RGB」を選択します。

(20ページ参照)

※Component は、ビデオ機器からのコンポーネント信号を COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT に入力する場合に選択します。接続は、別売の D-sub / コンポーネント変換ケーブルを使用します。

※RGB (Scart)は、ビデオ機器からの信号 (SCART 21ピン*) が COMPUTER IN 2 に入力されている場合に選択します。

※SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21ピン端子とプロジェクターの COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT を専用のケーブルで接続します。COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT で再生される RGB SCART信号は、480i、575i の RGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。



※ 「設定メニュー」の中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、コンピュータ 2 は表示されません。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

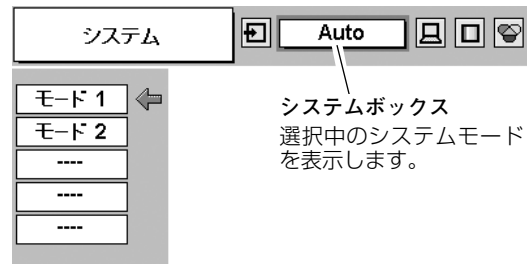
(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投射することができます。(56ページ参照)

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投射されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(32～34ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(13、20、21ページ参照)

D-VGA ・ D-SVGA ・ D-XGA ・ D-SXGA 2 ・ D-SXGA 3

コンピュータの入力信号がデジタルの場合に表示されます。(56ページ参照)

システムモードをマニュアルで選択するとき

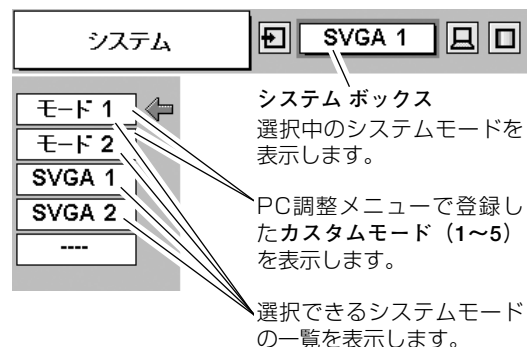
カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろし、いずれかにポインタを合わせて SELECT ボタンで選んでください。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(33、34 ページ参照)

※入力信号がデジタルの時は、システムメニューは選択できません。

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。

自動PC調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろし、自動PC調整のアイコンにポインタを合わせて SELECT ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、SELECT ボタンをもう一度押して自動調整してください。

自動PC調整機能は、リモコンの AUTO PC ボタンを押してもはたらきません。

※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。

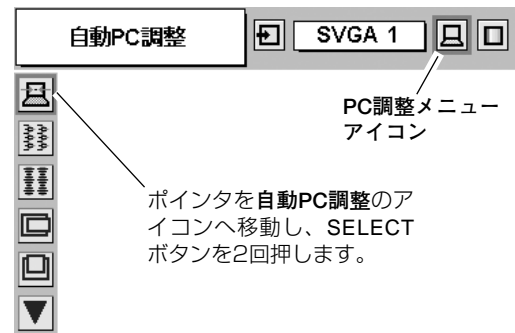
(33、34ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、34ページの **マニュアルPC調整の手順3**をごらんください。

※以下のときは、自動PC調整機能ははたらきません。

- ・コンピュータからの入力信号がデジタルのとき
- ・HDCP信号を受信しているとき
- ・システムメニューで、480p、575p、480i、575i、1035i、1080iを選択しているとき
- ・Multi Card Imager の Memory Card を装着しているとき

PC調整メニュー



マニュアルPC調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、**PC調整メニュー**でマニュアル調整し、カスタムモードに登録してください。登録したカスタムモードは、**システムメニュー**で選択できます。カスタムモードは5つまで登録することができます。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合は、**PC調整メニュー**は機能しません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントを**PC調整メニュー**のアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、**SELECT** ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)
※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

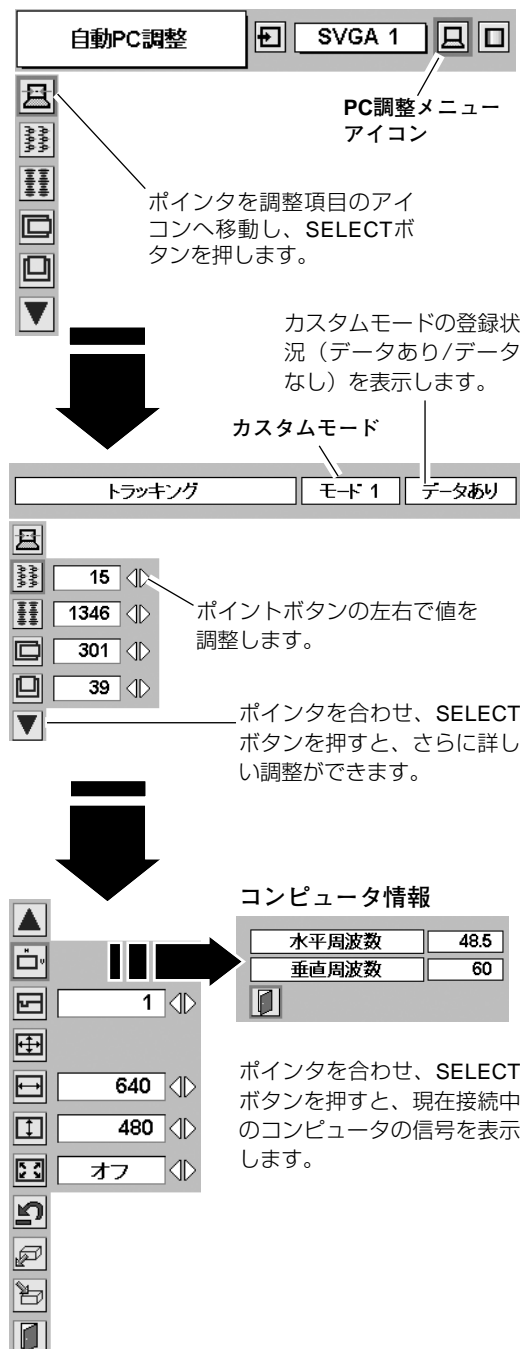
クランプ位置を調整します。




投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

PC調整メニュー



自動PC調整  **SVGA 1**  

PC調整メニューアイコン

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、**SELECT** ボタンを押します。

カスタムモードの登録状況 (データあり/データなし) を表示します。

カスタムモード

トラッキング **モード 1** **データあり**

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、**SELECT** ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、**SELECT** ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、**SELECT** ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

コンピュータ情報

水平周波数	48.5
垂直周波数	60

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、**SELECT** ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

フルスクリーン

オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投影します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投影します。

※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」「フルスクリーン」の調整はできません。

3 メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

データ消去

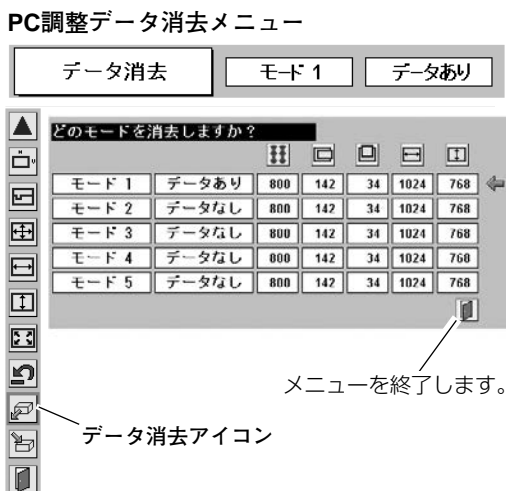
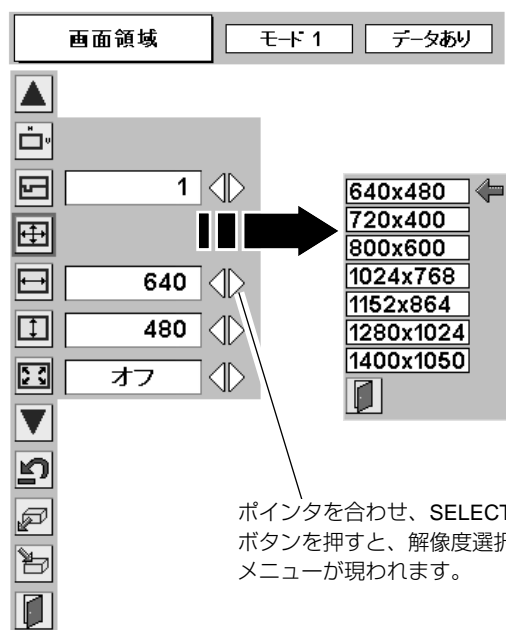
ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

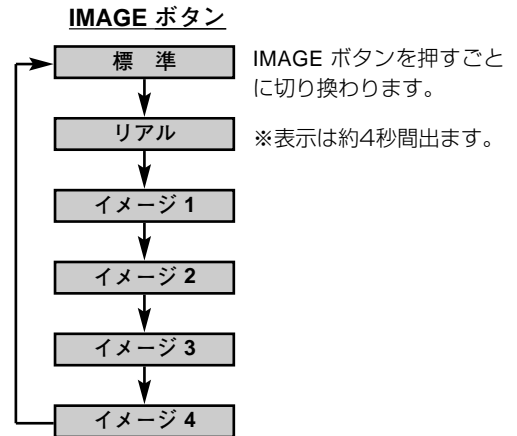
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

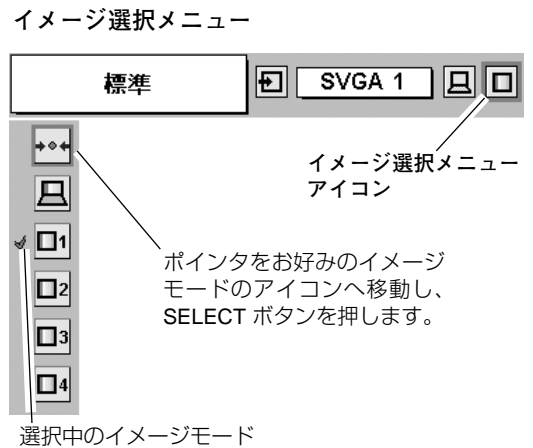
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。（次ページ参照）



マニュアルでイメージ調整を行なう

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

3 **メモリー**

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。

コントラスト

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色温度

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低—低—中—高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

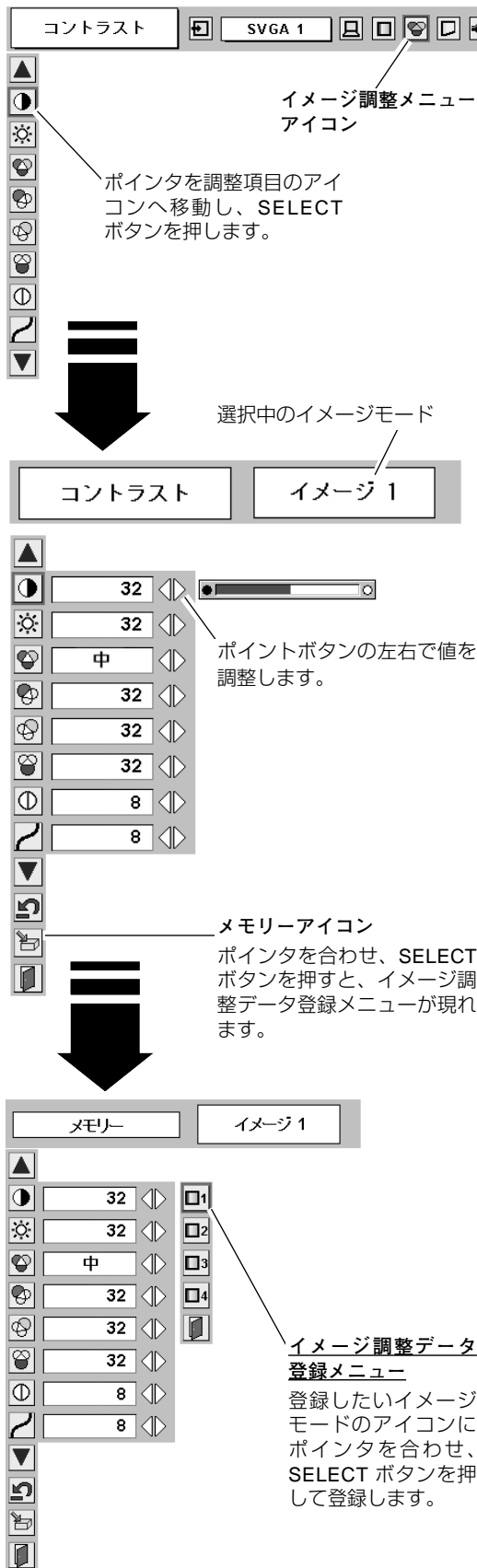
画質

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタン右で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

イメージ調整メニュー



画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。



ノーマル

画像を有効投映画面^{注)}の高さに合わせて投映します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面^{注)}よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム+」モードに入ります。



ワイド

画像を有効投映画面^{注)}の幅に合わせ、横16：縦9のワイド画面で投映します。



デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom+」表示が現われます。

SELECTボタンを押すごとに画像が拡大します。

ポイントボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面^{注)}よりも大きいときのみはたります。

リモコンのD.ZOOM ▲ ボタンを押しても画像の拡大ができます。



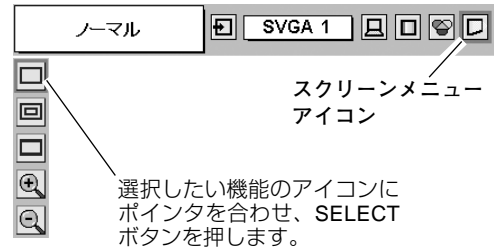
デジタルズーム-

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom-」表示が現われます。

SELECTボタンを押すごとに画像が縮小します。

リモコンのD.ZOOM ▼ ボタンを押しても画像の縮小ができます。

スクリーンメニュー



スクリーンメニュー
アイコン

選択したい機能のアイコンに
ポインタを合わせ、SELECT
ボタンを押します。

注) LP-XU55/LP-XU50：1024x768 ドット
LP-SU50：800x600 ドット

※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SELECT、ポイント以外のボタンを押します。

※ システムメニューで 720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

※ システムメニューで 480i、575i、480p、575p のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム+」は選択できません。

※ 本機は SXGA (1280x1024ドット) を超える解像度には対応していません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。

※ 有効投映画面^{注)}以外の画像データは、初期画面で有効投映画面^{注)}に合うように自動的に画像サイズが変換されます。

※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム+」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

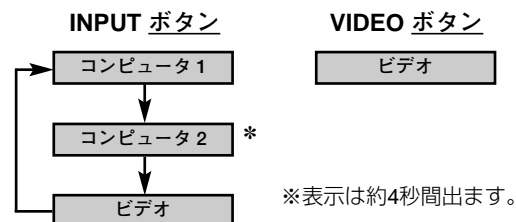
ビデオ入力

ビデオ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの VIDEO ボタン、または操作パネルの INPUT ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)



INPUT ボタンを押すごとに切り換わります。

* 「セッティングメニュー」の中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、コンピュータ2は表示されません。

インプットメニューで入力を切り換える

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。

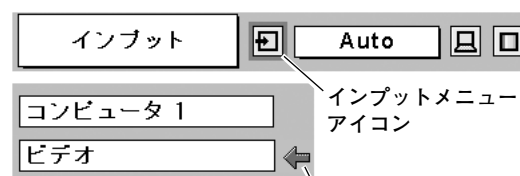
2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろして「ビデオ」にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。

3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

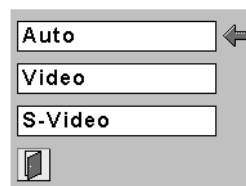
※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入(信号の有無ではない)を検知して

1) S-Video、2) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。
希望する入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。

インプットメニュー



ポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。



信号選択メニュー (ビデオ)

ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンを押します。

※COMPUTER IN 2/ COMPONENT IN / MONITOR OUT にビデオ機器からのコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピュータ2」から Component を選択します。(30ページ参照)

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto (自動)

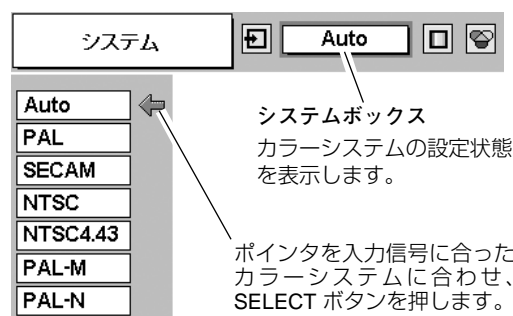
入力信号のカラーシステムにプロジェクトが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
(コンポジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

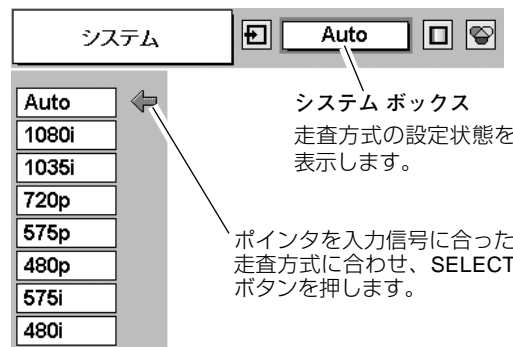
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクトが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切りかわります。

標準

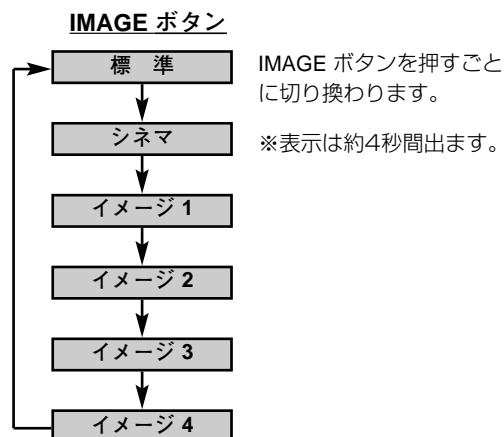
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

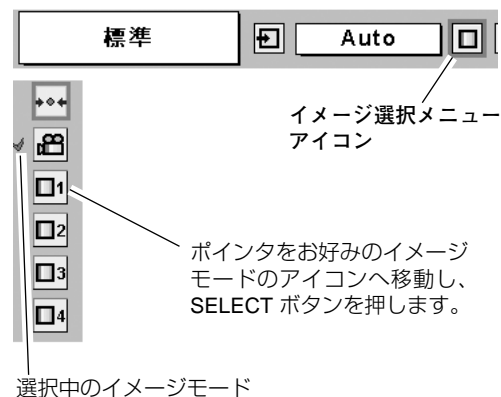
シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)


イメージ選択メニュー




マニュアルでイメージ調整を行なう

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。


2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

3  **メモリー**

ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポイントを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

 **リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

 **戻る**

メニューを終了します。

 **コントラスト**

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

 **明るさ**

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

 **色の濃さ**

ポイントボタン左で色が薄くなり、ポイントボタン右で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

 **色合い**

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

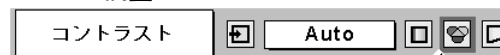
※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

 **色温度**

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低—低—中—高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整メニューアイコン

ポイントを調整項目のアイコンへ移動し、SELECT ボタンを押します。



ポイントボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。

ポイントボタンの左右で値を調整します。

メモリーアイコン

ポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。



イメージ調整データ登録メニュー

登録したいイメージモードのアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。



ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)



画質

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタン右で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)



ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)



プログレッシブ

オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・プログレッシブ スキャンを ON にします。(動画のとき)

L2・・・プログレッシブ スキャンを ON にします。(静止画のとき)

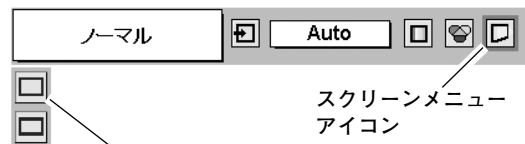
※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。

画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2種類の中から選択できます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押します。



ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横:縦) 4:3 で投映します。



ワイド

DVDプレーヤー等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16:9 のワイド画面で投映します。

※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号 (アスペクト比 16:9) が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

各種セッティング

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろして設定する項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、ハンガール語、日本語の12か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。ポイントボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、SELECT ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われます。ポイントボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。
メモリー・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。
リセット・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

- ※「キーストーン」表示が現れているあいだに、KEYSTONE ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

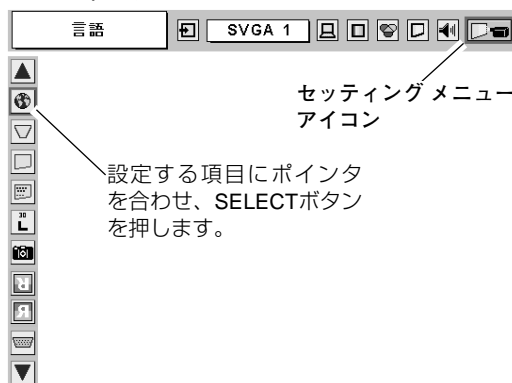


オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

- オン・・・すべての画面表示を出します。
- オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。
 - ・メニューバー表示 (29ページ参照)
 - ・電源を切るときの「もう1度押すと電源が切れます」の表示
 - ・P-TIMER 表示 (26 ページ参照)
 - ・自動PC調整の「しばらくお待ちください」の表示
 - ・パワーマネージメント時のタイマー表示 (45ページ参照)

セッティングメニュー



セッティングメニューアイコン

設定する項目にポイントを合わせ、SELECTボタンを押します。



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



選択したい項目にポイントを合わせ、ポイントボタンの左右で設定します。

ロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ・・・ロゴ表示を画面に出しません。

キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。

取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。（上記「ロゴ」参照）

1 ポイントボタン下でポインタを「キャプチャー」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 **はい**を選択すると、取り込みを始めます。
このとき、取り込みを中止したいときは、**いいえ**を押します。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。

- ※ 「ユーザー」へ保存できるのは1画面のみです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
- ※ この機能は使えるのは以下の信号です。

コンピュータ・・・XGAまで
ビデオ・・・720p、1035i、1080i、RGBビデオ、コンポーネント、HDCP 以外

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

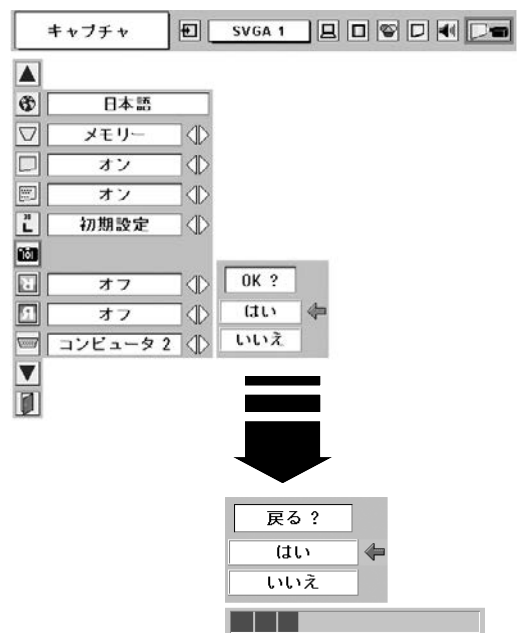
リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

端子

本機の後ろにある「COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT」の端子の切換えを行ないます。入力端子としてターミナルを使用するためには、「コンピュータ2」を、「コンピュータ1」の出力端子として使用するためには、「モニター出力」を選んでください。

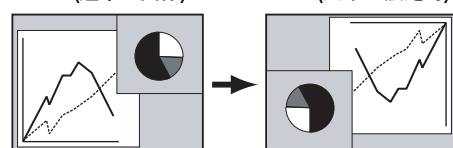
- ※ 工場出荷時は「コンピュータ2」に設定されています。



天吊り機能

オフ (通常の画像)

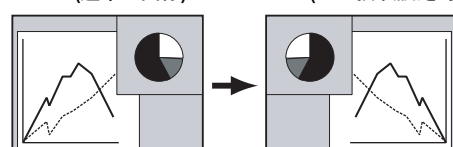
オン (天吊り設定時)



リア投映機能

オフ (通常の画像)

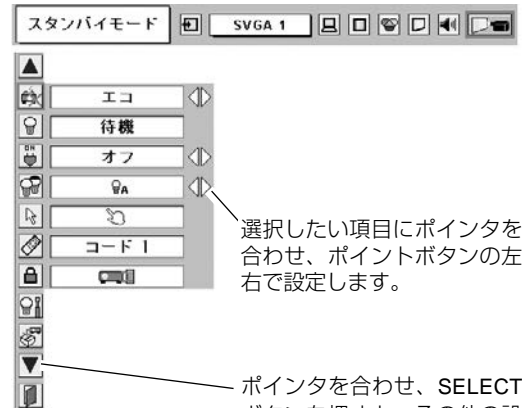
オン (リア投映設定時)





スタンバイモード

別売の『Multi Card Imager』を装着しているときに使用する機能です。



選択したい項目にポインタを合わせ、ポイントボタンの左右で設定します。

ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。



パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行ないます。

オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。

待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると POWER インジケータが赤く点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

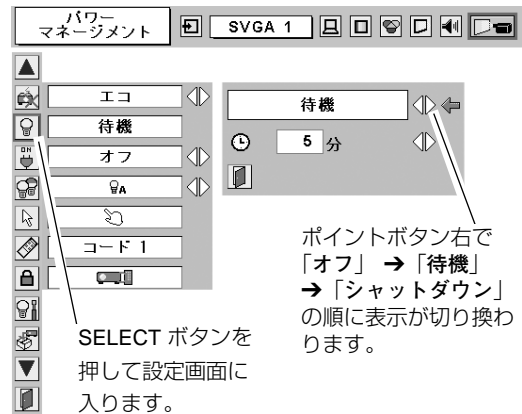
シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマーの設定

ポイントボタンの左右でパワーマネジメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30 分の範囲で設定できます。

パワーマネジメント動作詳細については 24 ページを参照ください。

※工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。



ポイントボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り換わります。

SELECT ボタンを押して設定画面に入ります。



↑
ランプ消灯までの時間



オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。



ランプモード

ノーマルモード、オート、エコモードの選択ができます。エコモードは、ランプの消費電力を抑えることができます。



明るい表示・・・ノーマルモード



明るい表示に「A」・・・オート



上部がグレーの表示・・・エコモード

※ ポイントボタン右で → → の順に表示が切り換わります。

※ 「AUTO（オート）」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

※ 工場出荷時は「オート」に設定されています。



ポインタ

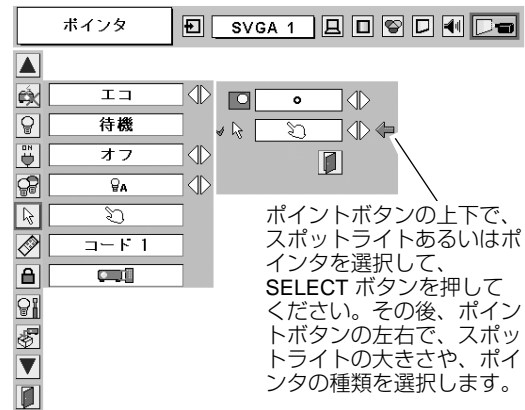
この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

ポインタをポインタアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、ポインタの種類を選択するメニューが現われます。ポイントボタンの上下で表示させたいポインタを選択します。さらにポイントボタンの左右で大きさや種類を選択します。

スポットライト・・・大・中・小

ポインタ・・・矢印・指先・ドット（赤い点）

この機能の操作は49ページを参照ください。



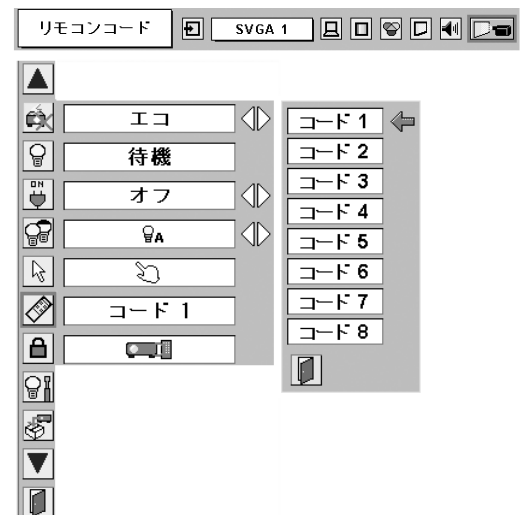
リモコンコード

本機は 8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

工場出荷時は「コード1」に設定されています。




リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切換える必要があります。

プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコン本体で行ないます。（17 ページ「リモコンコードの設定」参照）



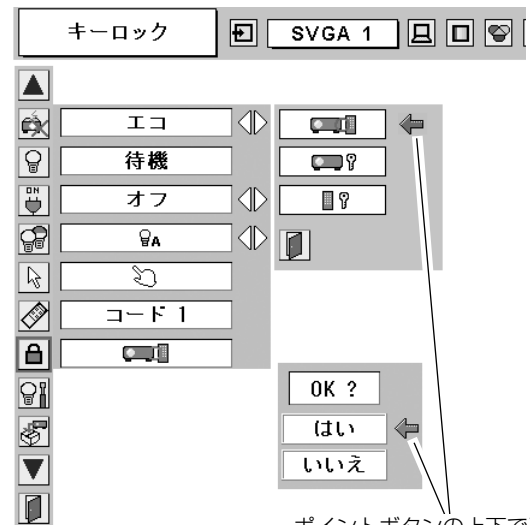
キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- ・・・操作パネルからの操作をロックします。
- ・・・リモコンの操作をロックします。
- ・・・キーロックは「オフ」の状態です。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、「SELECT」ボタンを押しながら、電源コードをさし、プロジェクターの電源を入れると、キーロックが解除されます。



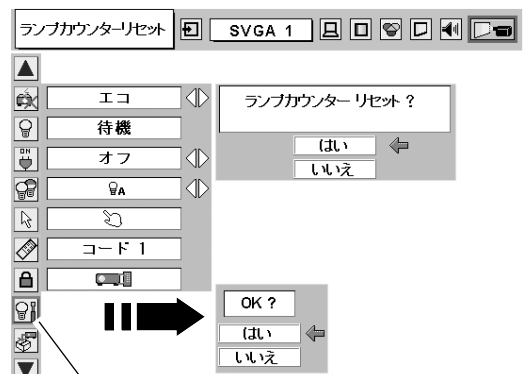
ポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押します。

ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。

注意 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

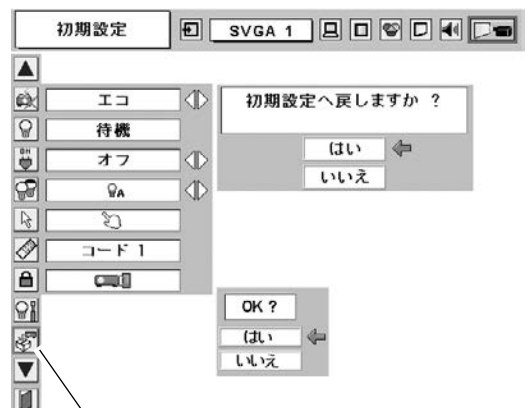
初期設定

ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。



「初期設定」のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現われます。

その他の機能

リモコンでコンピュータを操作する

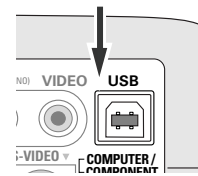
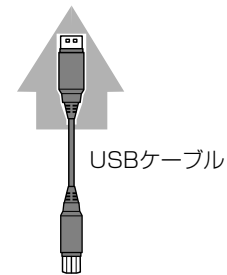
付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータに USB端子があることを確認してください。
USB端子以外の端子ではご使用になれません。

- 1 付属のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と、本機のUSB端子を接続します。
- 2 USBケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

コンピュータのUSB端子へ



マウスポインタの動かしか方

マウスポインタの操作は、「マウスポインタボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

マウスポインタボタン

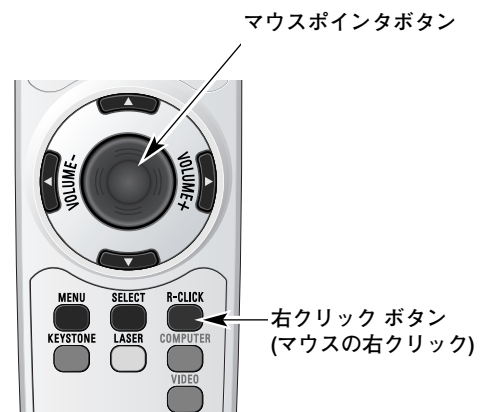
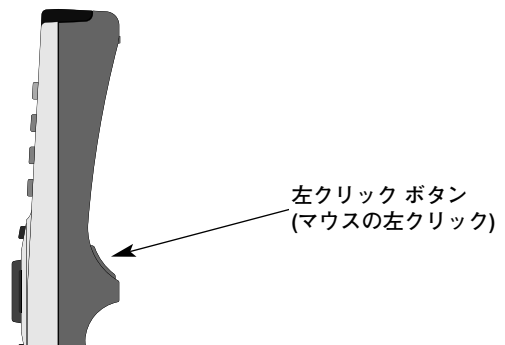
マウスポインタの移動を行ないます。
上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリック ボタン

コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。



光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

LAMP REPLACE インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。LAMP REPLACE インジケータ (黄) が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。LAMP REPLACE インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON」(入) のときに点灯します。なお、LAMP REPLACE インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

光源ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

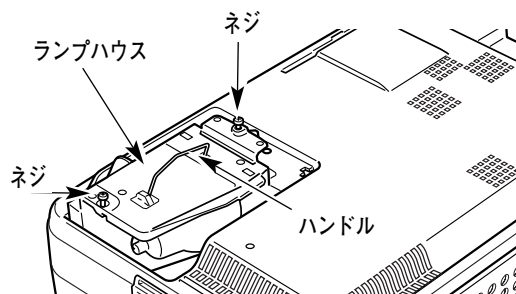
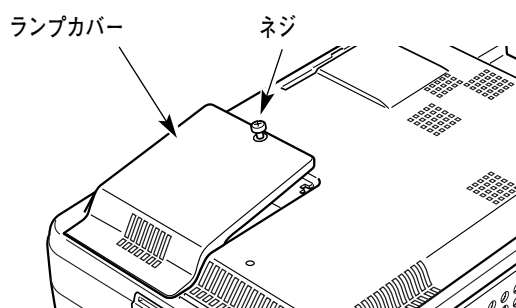
- ・交換ランプの品番：POA-LMP55 (LP-XU55 / LP-XU50用)
(サービス部品コード：610 309 2706)
POA-LMP65 (LP-SU50用)
(サービス部品コード：610 307 7925)
- ・プロジェクターの品番：LP-XU55 / LP-XU50 / LP-SU50



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジをゆるめてランプカバーを外します。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、47ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズカバーをはめ、キャリーバッグに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水ですすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

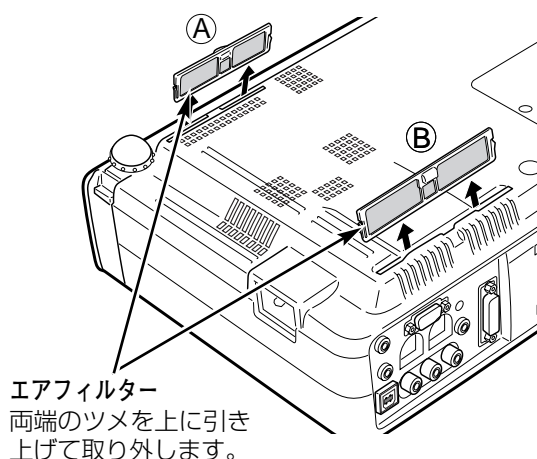
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、下記を参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの両端のツメを上へ引き上げて、エアフィルターをはずします。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

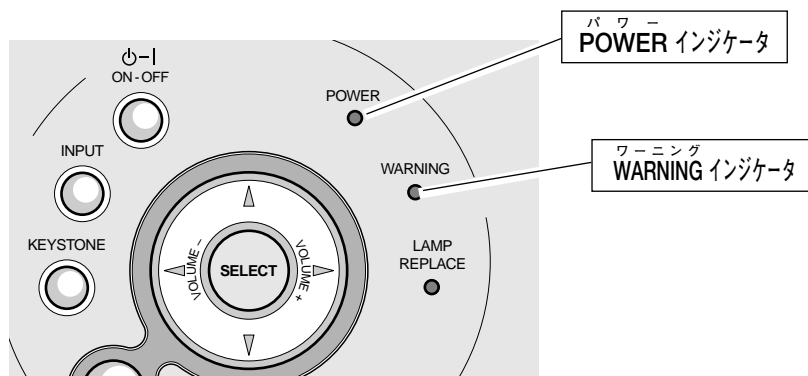


取り替え用エアフィルターの品番：フィルターA 610-307-6317
フィルターB 610-307-6324

● お掃除の際にご注意ください ●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



WARNING インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING インジケータが赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、POWER インジケータが赤く点滅します。(WARNING インジケータも点滅を続けます。) 温度が下がると POWER インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると WARNING インジケータの点滅が消えます。WARNING インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていますか。エアフィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、POWER インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び WARNING インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが点滅し POWER インジケータが赤く点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが赤く点滅し、POWER インジケータが赤い点灯を始めます。このとき、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。

このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直しプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、WARNING インジケータが点滅し、POWER インジケータが赤く点滅をする場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑/赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
◐	●	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。ON-OFF ボタンを押すと動作します。
○	●	※	プロジェクターは正常に動作しています。
◐	◐	※	プロジェクターの内部温度が高くなっています。ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、POWER インジケータが点灯に変わります。ON-OFF ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。(WARNING インジケータは点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。
◐	◐	※	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。ON-OFF ボタンを押すと、WARNING インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
◐	●	※	電源コードをコンセントへ入れ、スタンバイ状態になるまで、または、ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、ON-OFF ボタンを押して始動することはできません。
●	◐	※	プロジェクターの内部に異常が検出されました。ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
◐	●	※	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ …点灯：緑 ◐ …点滅：緑 ◑ …点灯：赤 ◒ …点滅：赤 ● …消灯

※ … LAMP REPLACE インジケータが点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(50ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。POWER ボタンを押してみてください。 ● POWER インジケータが消えているとき、または赤く点滅しているときは、POWER ボタンを押しても電源が入りません。 ● WARNING インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、POWER ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの POWER ボタンを押してみてください。 	23, 24 53 47
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。 ● レンズカバーをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。 	13, 20, 21 23 31, 39
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。 	13, 20, 21
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 	25 18 19, 25
映像が左右（上下）逆さまに映っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	44
オンスクリーンメニューが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	43
「コンピュータ2」が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「端子」が「モニター出力」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	44
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていますか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの ALL OFF スイッチが、「ALL OFF」側になっていませんか。「ON」側に操作してください。 ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 	16 16 16 15 17, 46 47
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。 ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。 	20 48

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
575i	————	15.625	50.00 (インターレース)	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
480i	————	15.734	60.00 (インターレース)	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	SXGA 21	1400 x 1050	63.90	60.00
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	480p	————	31.47	59.88
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	575p	————	31.25	50.00
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	720p	————	45.00	60.00
XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)	1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	1080i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	1080i	————	28.125	50.00 (インターレース)

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-480p	————	37.879	60.32	D-SXGA 3	1280 x 1024	31.65	29.80
D-575p	————	43.363	60.00	D-720p	————	45.00	60.00
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1080i	————	33.75	60.00 (インターレース)
D-SXGA 1	1280 x 1024	63.98	60.02	D-1080i	————	28.125	50.00 (インターレース)

の信号には、LP-SU50は対応しておりません。

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※SXGA、Mac16、Mac19、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投射するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

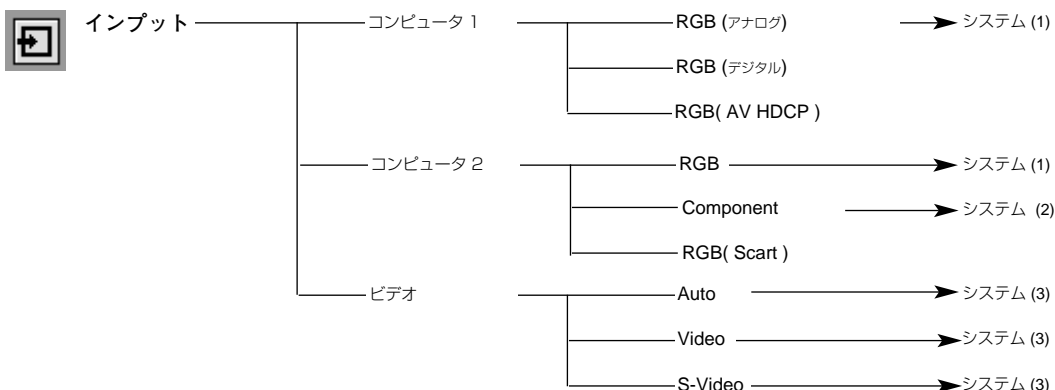
※ LP-XU55 / LP-XU50は、ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

LP-SU50は、ドットクロックが 100MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

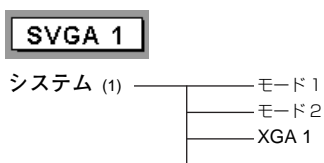
※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGA 1 および D-SXGA 2、D-SXGA 3 の画像は正しく映らない場合があります。

メニュー内容一覧

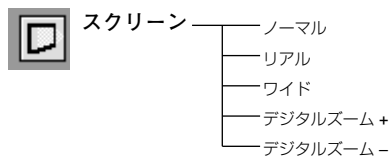
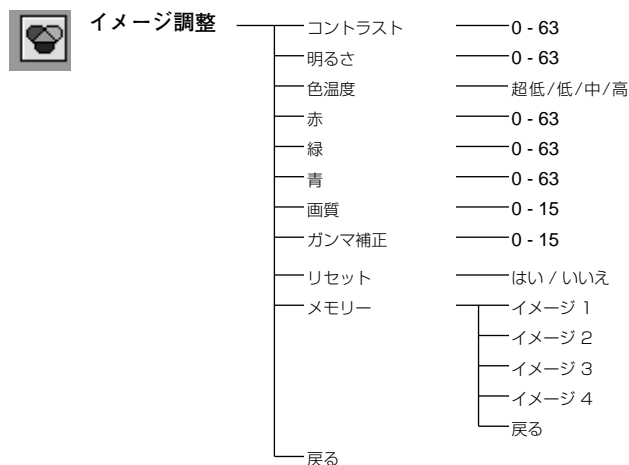
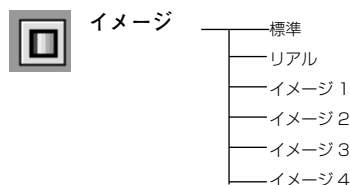
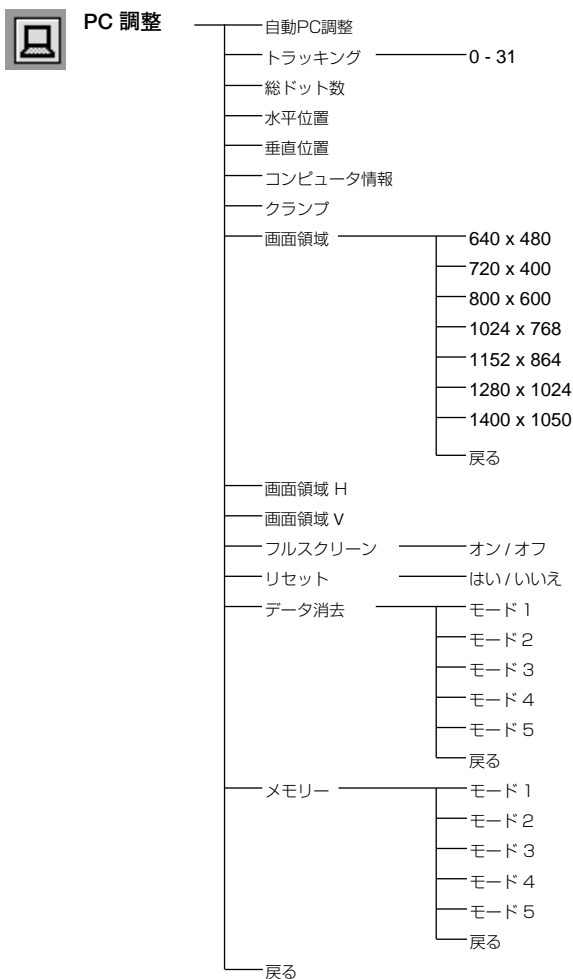
コンピュータ / ビデオ インプット



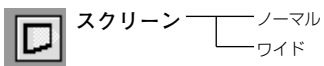
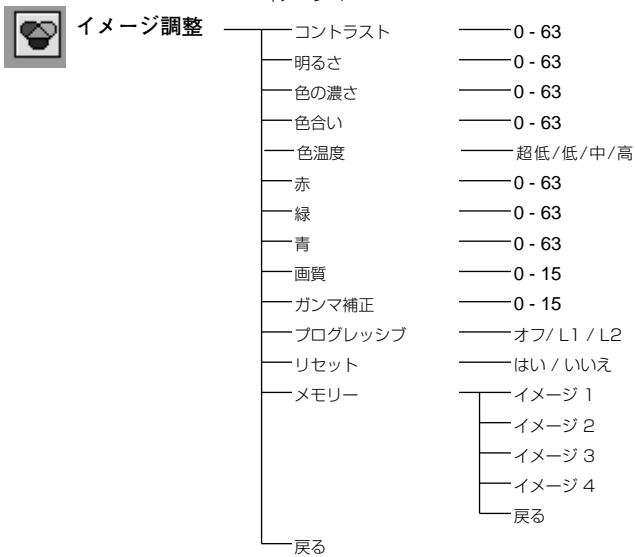
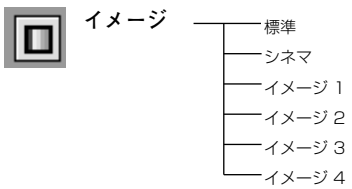
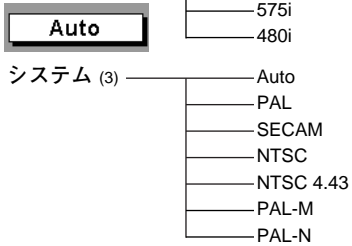
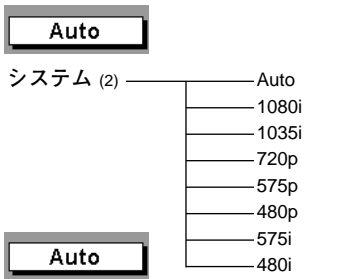
コンピュータ入力



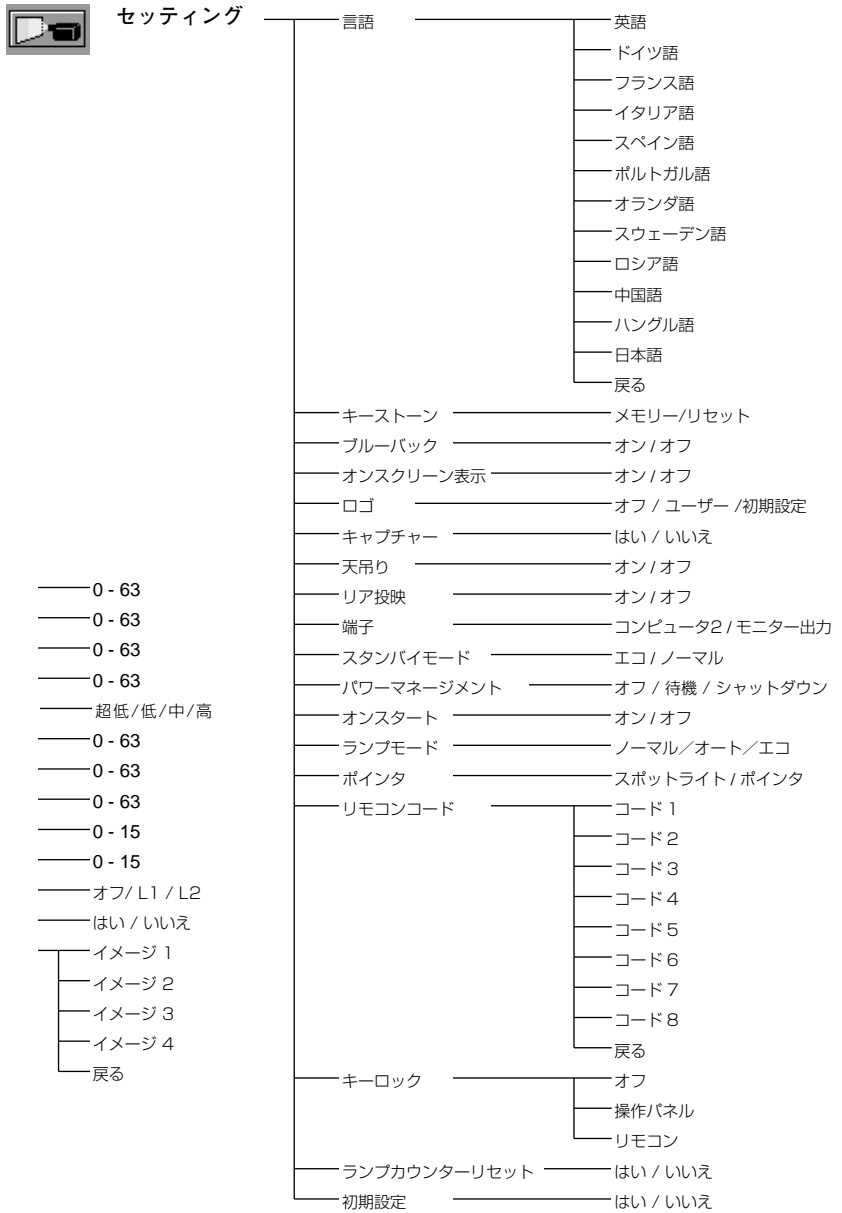
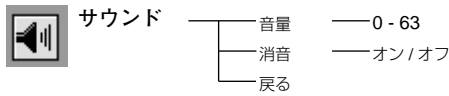
*表示される内容は入力された信号によって異なります。.



ビデオ入力



セッティング



仕 様

プロジェクター本体

品 番	LP-SU50	LP-XU55 / LP-XU50
種 類	液晶プロジェクター	
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式	
液晶パネル	パネルサイズ：0.8型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：1,440,000 画素 { 480,000（横 800 × 縦 600）× 3 }	
投影レンズ	1.5倍ズームレンズ F= 1.7 ~ 2.5 f= 20 ~ 30 mm	
光源ランプ	高輝度 200W UHPランプ	
ズーム/フォーカス調整	手動式	
入出力 コンピュータ	DVI入力 (1系統)：DVI-I コネクター (29ピン) デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入出力 (入力1系統・出力1系統)：ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)	
ビ デ オ	ビデオ入力 (1系統) 映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p (パースト信号)、インピーダンス75Ω コンポーネント：セパレートY Cb/Pb Cr/Pr信号、ミニD-sub 15ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb：0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr：0.7Vp-p、インピーダンス75Ω	
音 声	音声入力 (1系統)：ミニジャック (ステレオ)、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力：ピンジャック、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) 音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用)：ミニジャック (ステレオ)、可変出力、 インピーダンス1KΩ以下	
制御入出力、他	サービスポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート	
走査周波数	水平 15~80KHz、垂直 50~100Hz	水平 15~100KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)	
音声実用最大出力	モノラル 1W (JEITA)	
スピーカ	2.8 cm 円形 1個	
電 源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	260W (待機中消費電力 11W)	270W (待機中消費電力 11W)
本体寸法	幅 298×高さ 71×奥行 218 mm (突起部含まず)	
質 量	2.8 Kg	

※ HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-I入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投写することができます。HDCPの規格変更等が行われた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-I端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅50×高さ27×奥行181mm
質量	154g (電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：650±20 nm

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (DVI/D-sub用) ... 1本
- USB ケーブル 1本
- 取扱説明書
- 保証書
- ユーザー登録カード (はがき)
- キャリーバッグ 1枚
- レンズカバー 1個
- レンズカバー用ひも 1本
- レンズカバー用ネジ 1個

別売品

- Mac変換アダプタ 品番：POA-MACAP
- DVI デジタルケーブル 品番：KA-DV20
- コンポーネント / D-sub ケーブル 品番：POA-CA-COMPVGA
- Multi Card Imager Box 品番：POA-BOX20
- 有線 LAN カード 品番：POA-WDC20
- 無線 LAN カード 品番：POA-WLC20
- メモリーカード 品番：POA-CFC20

マルチカードイメージャーをご使用のとき、以下のモデルコードをPJコントローラーの中でセットください。
詳しくは、マルチカードイメージャーの取扱説明書をご覧ください。

モデルコード：08-1-1

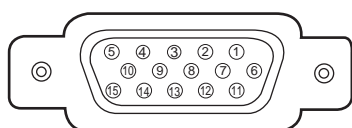
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT (コンピュータ入力 / コンポーネント入力 / モニター入出力端子)

コンピュータ入力、コンポーネント入力、モニター出力端子として動作します。モニター出力にすると、DVI-I 端子に入力されたコンピュータ (アナログ) 信号を出力します。接続には、D-sub 用コンピュータ接続ケーブル、または、コンポーネント/D-sub用接続ケーブルをご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

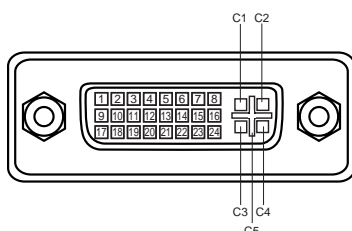


1	R	9	+5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

COMPUTER IN 1 / DVI-I (コンピュータ DVI-I 入力端子)

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号 (デジタル / アナログ) を接続する DVI-I端子です。接続には、別売の DVI-I用コンピュータ接続ケーブルを使用します。D-sub出力端子 (アナログ) のコンピュータへの接続には、付属の DVI/D-sub 用コンピュータ接続ケーブルを使って接続します。

DVI 29ピン



アナログ コンタクト部

C1	アナログ R ビデオ入力
C2	アナログ G ビデオ入力
C3	アナログ B ビデオ入力
C4	アナログ水平同期
C5	アナログ RGB 接地

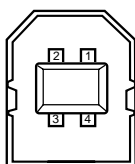
デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2/4シールド	11	T.M.D.S. データ 1/3シールド	19	T.M.D.S. データ 0/5シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクタ (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の修理相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口>

受付時間：9：00～17：00 まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎ (011)290-1522 | ◆近畿・四国地区 大阪 ☎ (06)6994-9570 |
| ◆東北地区 仙台 ☎ (022)714-6137 | ◆中国地区 広島 ☎ (082)297-6067 |
| ◆関東地区 東京 ☎ (03)3815-1111 | ◆九州・沖縄地区 福岡 ☎ (092)263-7629 |
| ◆中部・北陸地区 名古屋 ☎ (052)533-5245 | |

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機（株）お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

FAX (06) 6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋電機サービス（株）

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]

土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター 東京 ☎ (03)5302-3401

西日本コールセンター 大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・甲信越・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区 札幌 ☎ (011)833-7888

◆東北地区 仙台 ☎ (022)382-2213

西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区 金沢 ☎ (076)237-6650

◆中部地区 名古屋 ☎ (052)459-3456

◆中国地区 広島 ☎ (082)293-9333

◆四国地区 高松 ☎ (087)844-8321

◆九州地区 福岡 ☎ (092)922-6111

◆沖縄地区 沖縄 ☎ (098)944-5018

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品購入」については、各地区サービスセンターで承っております。

北海道地区	関東地区	近畿地区
北海道 札幌 ☎ (011)831-9201 <small>〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36</small> 函館 ☎ (0138)48-8301 <small>〒041-0824 函館市西栢梗589-295</small> 苫小牧 ☎ (0144)33-3421 <small>〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5</small> 旭川 ☎ (0166)22-2421 <small>〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3</small> 北見 ☎ (0157)23-4871 <small>〒090-0037 北見市山下町4-7-14</small> 釧路 ☎ (0154)22-1576 <small>〒085-0021 釧路市浪花町7-7</small>	茨城県 水戸 ☎ (029)251-4125 <small>〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1</small> つくば ☎ (0298)64-4751 <small>〒300-3261 つくば市花畑2-15-3</small> 山梨県 甲府 ☎ (055)226-2561 <small>〒400-0035 甲府市飯田4-9-14</small> 新潟県 新潟 ☎ (025)285-2431 <small>〒950-0971 新潟市近江244</small> 長岡 ☎ (0258)24-0705 <small>〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46</small> 上越 ☎ (0255)43-3535 <small>〒942-0074 上越市石橋2-2-9</small>	京都府 京都 ☎ (075)672-0877 <small>〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41</small> 福知山 ☎ (0773)27-3458 <small>〒620-0856 福知山市土師宮町1-66</small> 滋賀県 大津 ☎ (077)545-4221 <small>〒520-2134 大津市瀬田1-1-5</small>
東北地区	中部地区	四国地区
青森県 青森 ☎ (017)729-3401 <small>〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5</small> 八戸 ☎ (0178)28-9225 <small>〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5</small> 秋田県 秋田 ☎ (018)862-6551 <small>〒010-0925 秋田市旭南3-2-67</small> 岩手県 盛岡 ☎ (019)635-0136 <small>〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6</small> 山形県 山形 ☎ (023)641-1769 <small>〒990-2432 山形市荒橋町1-21-30</small> 宮城県 仙台 ☎ (022)384-0444 <small>〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8</small> 福島県 郡山 ☎ (024)945-6793 <small>〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7</small>	愛知県 名古屋 ☎ (052)451-3161 <small>〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10</small> 岡崎 ☎ (0564)23-3418 <small>〒444-0065 岡崎市柿田町1-2</small> 静岡県 静岡 ☎ (054)261-4151 <small>〒420-0813 静岡市長沼885</small> 沼津 ☎ (055)963-1000 <small>〒410-0861 沼津市真砂町3-1</small> 浜松 ☎ (053)461-8685 <small>〒435-0016 浜松市和田町795-2</small> 長野県 松本 ☎ (0263)26-1107 <small>〒390-0835 松本市高宮東1-35</small> 長野 ☎ (026)299-9501 <small>〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2</small> 岐阜県 岐阜 ☎ (058)246-3417 <small>〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋1-35</small> 三重県 津 ☎ (059)228-8126 <small>〒514-0838 津市岩田町10-3</small> 石川県 金沢 ☎ (076)237-7811 <small>〒920-0062 金沢市割出町627</small> 富山県 富山 ☎ (076)422-7020 <small>〒939-8211 富山市二口町1-13-8</small> 福井県 福井 ☎ (0776)22-6082 <small>〒918-8231 福井市問屋町1-17</small>	香川県 四国 ☎ (087)843-1840 <small>〒761-0104 高松市高松町2175-10</small> 愛媛県 松山 ☎ (089)971-3342 <small>〒791-8036 松山市高岡町148-1</small> 高知県 高知 ☎ (088)860-0229 <small>〒781-5106 高知市介良乙1044</small> 徳島県 徳島 ☎ (088)699-4131 <small>〒771-0219 板野郡松茂町奄木野字八北開拓150-2</small>
関東地区	近畿地区	中国地区
東京都 城北 ☎ (03)3958-1261 <small>〒173-0021 板橋区弥生町72-5</small> 城东 ☎ (03)3607-3191 <small>〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15</small> 江東 ☎ (03)3685-8166 <small>〒136-0071 江東区龜戸1-8-6</small> 城南 ☎ (03)3421-5171 <small>〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3</small> 城西 ☎ (03)3376-3361 <small>〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13</small> 府中 ☎ (042)364-7721 <small>〒183-0045 府中市美好町2-3-1</small> 栃木県 宇都宮 ☎ (028)653-2811 <small>〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12</small> 群馬県 高崎 ☎ (027)362-1151 <small>〒370-0001 高崎市中尾町池の内441</small> 太田 ☎ (0276)22-7702 <small>〒373-0015 太田市東新町72-2</small> 神奈川県 横浜 ☎ (045)827-2831 <small>〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14</small> 平塚 ☎ (0463)55-3926 <small>〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4</small> 相模原 ☎ (042)742-2272 <small>〒228-0805 相模原市豊町17-11</small> 埼玉県 大宮 ☎ (048)664-2319 <small>〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30</small> 坂戸 ☎ (049)284-8900 <small>〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17</small> 千葉県 千葉 ☎ (043)241-7311 <small>〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20</small> 鎌ヶ谷 ☎ (047)441-0111 <small>〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59</small>	大阪府 大阪南 ☎ (06)6761-4600 <small>〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F</small> 大阪東 ☎ (0729)65-1811 <small>〒578-0903 東大阪市今米2-3-29</small> 大阪 ☎ (06)6992-6235 <small>〒570-0086 守口市竹町4-13</small> 阪和 ☎ (072)221-8571 <small>〒590-0959 堺市大町西3-1-16</small> 奈良県 奈良 ☎ (0744)22-7888 <small>〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31</small> 兵庫県 阪神 ☎ (06)6432-3401 <small>〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6</small> 神戸 ☎ (078)651-3951 <small>〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11</small> 姫路 ☎ (0792)96-2141 <small>〒670-0981 姫路市西庄字八町108</small> 洲本 ☎ (0799)22-2702 <small>〒656-0101 洲本市納字横竹308-1</small> 和歌山県 和歌山 ☎ (073)436-3110 <small>〒641-0006 和歌山市中島369</small>	広島県 広島 ☎ (082)293-6511 <small>〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5</small> 福山 ☎ (084)925-3455 <small>〒720-0077 福山市南本庄3-1-48</small> 岡山県 岡山 ☎ (086)245-1634 <small>〒700-0973 岡山市下中野703-101</small> 島根県 松江 ☎ (0852)23-1183 <small>〒690-0017 松江市西津田4-1-14</small> 山口県 山口 ☎ (083)973-3391 <small>〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町2-6</small> 鳥取県 鳥取 ☎ (0857)24-2930 <small>〒680-0843 鳥取市南吉方3-107</small>
関東地区	近畿地区	九州地区
東京都 城北 ☎ (03)3958-1261 <small>〒173-0021 板橋区弥生町72-5</small> 城东 ☎ (03)3607-3191 <small>〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15</small> 江東 ☎ (03)3685-8166 <small>〒136-0071 江東区龜戸1-8-6</small> 城南 ☎ (03)3421-5171 <small>〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3</small> 城西 ☎ (03)3376-3361 <small>〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13</small> 府中 ☎ (042)364-7721 <small>〒183-0045 府中市美好町2-3-1</small> 栃木県 宇都宮 ☎ (028)653-2811 <small>〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12</small> 群馬県 高崎 ☎ (027)362-1151 <small>〒370-0001 高崎市中尾町池の内441</small> 太田 ☎ (0276)22-7702 <small>〒373-0015 太田市東新町72-2</small> 神奈川県 横浜 ☎ (045)827-2831 <small>〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14</small> 平塚 ☎ (0463)55-3926 <small>〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4</small> 相模原 ☎ (042)742-2272 <small>〒228-0805 相模原市豊町17-11</small> 埼玉県 大宮 ☎ (048)664-2319 <small>〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30</small> 坂戸 ☎ (049)284-8900 <small>〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17</small> 千葉県 千葉 ☎ (043)241-7311 <small>〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20</small> 鎌ヶ谷 ☎ (047)441-0111 <small>〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59</small>	大阪府 大阪南 ☎ (06)6761-4600 <small>〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F</small> 大阪東 ☎ (0729)65-1811 <small>〒578-0903 東大阪市今米2-3-29</small> 大阪 ☎ (06)6992-6235 <small>〒570-0086 守口市竹町4-13</small> 阪和 ☎ (072)221-8571 <small>〒590-0959 堺市大町西3-1-16</small> 奈良県 奈良 ☎ (0744)22-7888 <small>〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31</small> 兵庫県 阪神 ☎ (06)6432-3401 <small>〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6</small> 神戸 ☎ (078)651-3951 <small>〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11</small> 姫路 ☎ (0792)96-2141 <small>〒670-0981 姫路市西庄字八町108</small> 洲本 ☎ (0799)22-2702 <small>〒656-0101 洲本市納字横竹308-1</small> 和歌山県 和歌山 ☎ (073)436-3110 <small>〒641-0006 和歌山市中島369</small>	福岡県 福岡 ☎ (092)928-3414 <small>〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1</small> 北九州 ☎ (093)521-5286 <small>〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28</small> 久留米 ☎ (0942)21-3534 <small>〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2</small> 長崎県 長崎 ☎ (095)824-5628 <small>〒850-0012 長崎市本河内町3-21-43</small> 佐世保 ☎ (0956)31-7635 <small>〒857-1162 佐世保市御本町17-1</small> 熊本県 熊本 ☎ (096)357-1122 <small>〒861-4106 熊本市南高江3-2-88</small> 大分県 大分 ☎ (097)543-3454 <small>〒870-0822 大分市大道町3-4-32</small> 宮崎県 宮崎 ☎ (0985)29-3441 <small>〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883</small> 鹿児島県 鹿児島 ☎ (099)251-4615 <small>〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10</small>
関東地区	近畿地区	沖縄地区
東京都 城北 ☎ (03)3958-1261 <small>〒173-0021 板橋区弥生町72-5</small> 城东 ☎ (03)3607-3191 <small>〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15</small> 江東 ☎ (03)3685-8166 <small>〒136-0071 江東区龜戸1-8-6</small> 城南 ☎ (03)3421-5171 <small>〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3</small> 城西 ☎ (03)3376-3361 <small>〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13</small> 府中 ☎ (042)364-7721 <small>〒183-0045 府中市美好町2-3-1</small> 栃木県 宇都宮 ☎ (028)653-2811 <small>〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12</small> 群馬県 高崎 ☎ (027)362-1151 <small>〒370-0001 高崎市中尾町池の内441</small> 太田 ☎ (0276)22-7702 <small>〒373-0015 太田市東新町72-2</small> 神奈川県 横浜 ☎ (045)827-2831 <small>〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14</small> 平塚 ☎ (0463)55-3926 <small>〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4</small> 相模原 ☎ (042)742-2272 <small>〒228-0805 相模原市豊町17-11</small> 埼玉県 大宮 ☎ (048)664-2319 <small>〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30</small> 坂戸 ☎ (049)284-8900 <small>〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17</small> 千葉県 千葉 ☎ (043)241-7311 <small>〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20</small> 鎌ヶ谷 ☎ (047)441-0111 <small>〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59</small>	大阪府 大阪南 ☎ (06)6761-4600 <small>〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F</small> 大阪東 ☎ (0729)65-1811 <small>〒578-0903 東大阪市今米2-3-29</small> 大阪 ☎ (06)6992-6235 <small>〒570-0086 守口市竹町4-13</small> 阪和 ☎ (072)221-8571 <small>〒590-0959 堺市大町西3-1-16</small> 奈良県 奈良 ☎ (0744)22-7888 <small>〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31</small> 兵庫県 阪神 ☎ (06)6432-3401 <small>〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6</small> 神戸 ☎ (078)651-3951 <small>〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11</small> 姫路 ☎ (0792)96-2141 <small>〒670-0981 姫路市西庄字八町108</small> 洲本 ☎ (0799)22-2702 <small>〒656-0101 洲本市納字横竹308-1</small> 和歌山県 和歌山 ☎ (073)436-3110 <small>〒641-0006 和歌山市中島369</small>	沖縄県 沖縄 ☎ (098)944-5018 <small>〒903-0103 沖縄県西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部</small>

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

55ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。


■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！		<small>熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。</small>
	 このような 症状は ありませんか	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。● 映像が時々消えることがある。● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。● 内部に水や異物が入った。● その他異常や故障がある。	

お客さまメモ	
品番	LP-XU55 / LP-XU50 / LP-SU50
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVソリューションズカンパニー
プロジェクタビジネスユニット 国内企画部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1